NAV600F

6.2インチフルセグAVナビ Y14A

取扱説明書

[マルチメディア編]

この度は本製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。

・正しく安全にお使い頂くため、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

・保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、
販売店からお受け取りください。

・お読みになった後も保証書とともに大切に保管し、必要に応じてご活用ください。

本機は日本国内でのみ使用するために設計されており、
国外では使用することができません。

This unit is designed for use in Japan only, and
cannot be used in any other country.

取扱説明書

このたびは、お買いあげいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、本書をお読みいただき、長くご愛用くださるようにお願い申し上げます。

本機はあくまで走行の参考として地図や音声で案内するものですが、道路の状況や本機の精度により、不適切な案内をする場合があります。ルート案内時でも、走行中は必ず道路標識など実際の交通規制に従って走行してください。

事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

□ **使用上の注意**

・運転中の操作は避け、停車して行ってください。
・運転中に画面を注視しないでください。

本書の見かた

画像などが一部記載と異なる場合がありますのでご了承ください。
また、用途別に下記のマークを使用しております。以下に各マークの意味を説明していますので、本書をお読みになる前によく理解しておいてください。

マーク	説明
TIPS	・お車や本機のために守っていただきたいこと。 守らないとお車や本機の破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。 ・本機を使ううえで知っておいていただきたいこと。 知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。
→	参照先のタイトルやページ番号を表示しています。
	画面上でのタッチパネルの操作を表します。

使用上の注意事項

・運転中の操作は避け、停車して行ってください。

・運転中に画面を注視しないでください。

・microSD カード、USB メモリのデータが、本機の故障、誤動作または不具合等により消失した場合、そのデータについては補償はできません。

目次 1

はじめに 2

本機について 16

テレビ 26

CD/DVD 36

目次 2

目次 3

AUX1/AUX2 88

カメラ 90

設定 92

その他 98

ご使用前に

○ 本ナビゲーションはGPSを利用したものです。GPS衛星の電波が受信できない、測位ができない場所ではルート案内はご利用できません。

○ 案内される目的地までの距離、所要時間、到着予定時間は目安としてご利用ください。

○ 同一車内で本機と一緒に別のGPS車載用機器を使用すると、各車載用機器において誤作動が起こることがあります。

○ 走行案内中の交差点・右左折の地点までの距離はGPS測位により誤差が生じる場合があります。

○ 平行な道路が隣接している場合、GPS測位の誤差により実際の走行道路ではなく、隣の道路が誘導される場合があります。

○ 表示される地図は更新の時期により新旧道路に対応していない場合があります。また、道路車線の情報は実際の道路案内や標識とは異なる場合があります。

○ 離島や僻地で通行できない道では、ルート案内はできませんので、ご注意ください。

○ 緊急を要する場合（病院・警察・消防などの施設へ）のナビゲーションにおいては、直接該当施設へご確認ください。

○ お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、故障による修理のときなどに、基本プログラムなどが消失・変化した場合、その内容の補償はできません。

○ 本機の使用または使用不能から生じる損害（事業利益の損失、記憶内容の変化、消失など）につきましては、弊社は一切その責任を負いかねます。

○ お客様が本体やmicroSDカード、USBメモリへ登録された個人情報（登録地点の住所や電話番号など）の取り扱い、管理（消去など）は、本製品を他人に譲渡されるまたは処分などをされる際は、必ずお客様の責任において消去等の処置を行ってください。登録された情報による損害においては一切のその責任を負いかねます。

安全上のご注意

・ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご利用ください。
・お読みになったあとはいつでも見られるところに必ず保管してください。

取扱説明書および本機の表示では、ご本人や周囲の人々が危害や損害を負うことなく、本機を安全に正しく使用していただくために、いろいろな注意事項を表示しています。

■ 注意事項は、それを守らなかった場合に起こりうる危害や損害の程度によって２つに区分しています。

⚠警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
⚠注意	「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ 注意内容の性質を絵表示で示しています。

	注意を促す内容です。
	してはいけない内容です。
	必ずしていただきたい内容です。

接続・取り付け

⚠警告

本機を、前方の視界を妨げる場所やハンドル・シフトレバー・ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険をおよぼす場所には取り付けないでください。
交通事故やけがの原因となります。

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉することがないよう注意してください。また加工部のサビ止め浸水防止の処置を施してください。
火災や感電の原因となります。

本機を取り付けるときやアースを取るときに、車体のボルトやナットを使用する場合は、ハンドル・ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルトやナットは絶対に使用しないでください。
これらを使用しますと制動不能や発火、交通事故の原因となります。

取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。
プラスとマイナス経路のショート事故による感電やけがの原因となります。

コード類は、運転操作の妨げとならないよう、まとめておくなどしてください。
ハンドルやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。

プラスアースの車と接続しないでください。
本機は DC12V のマイナスアース車専用です。これ以外の車との接続は故障、火災の原因となります。

電源コード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。
コード線の電流容量をオーバーし、火災や感電・故障の原因となります。

接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください。
ショート等により火災や感電、故障の原因となります。

取り付けや配線が終わったら、ブレーキランプ、ライト、ホーン、ウィンカーワイパーなど、全ての電装品が正しく動くことをお確かめください。
正常に動かない状態で使用すると火災や感電、故障の原因となります。

コード類の配線は、高温部を避けて行なってください。
コード類が車体の高温部に接続すると被覆が溶けてショートし、火災・感電の原因となります。

⚠注意

本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った取り付けや配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。

必ず付属の部品を指定通り使用してください。
指定以外の部品を使用すると、本機内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。

雨が吹き込むところや、水のかかるところなど湿気やほこり・油煙の多いところへの取り付けはさけてください。
本機に水や結露（エアコンホース周辺など）・ほこり・油煙が混入しますと発煙や発火、故障の原因となることがあります。

振動の多いところなど、しっかりと固定できないところへの取り付けはさけてください。
外れて事故やけがの原因となることがあります。

本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。
通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

取付説明書にしたがって、正しく配線してください。
正規の接続を行なわないと、火災や故障の原因となることがあります。

コード類が金属部に触れないように配線してください。
金属部に接触しコードが破損して、火災や感電・故障の原因となることがあります。

コード類は決して途中で切断しないでください。
コード類にはヒューズなどがついている場合があるので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

電源用のリード線は、バッテリーに直接接続しないでください。
車の振動や熱でコードの被覆が破れ、ショートして火災や感電の原因となることがあります。

電源コードの接続は、配線作業の最後に行なってください。
ショート事故による感電やけがの原因となることがあります。

左右のスピーカーのマイナス側を共通線にしたり、車体にアースしないでください。
ショート事故による感電やけがの原因となることがあります。

車体やねじ部分・シートレール等の可動部にコードをはさみ込まないように配線してください。
断線やショートにより、故障や感電・火災の原因となることがあります。

使用方法

⚠警告

本機を船舶、航空機などの主航法装置として使用しないでください。
測定誤差が生じたりするため、事故の原因となります。また塩害などにより、火災・感電の原因となります。

運転者は走行中には、本機の操作やディスクの交換はしないでください。
前方不注意となり交通事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させて行なってください。交通事故の原因となります。

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
思わぬ事故・火災・感電の原因となります。

万一、異物が入った・水や飲み物がかかった・煙が出る・変なにおいがするなどの異常が起こりましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
そのままでのご使用は、 思わぬ事故・火災・感電の原因となります。

本機の中に水や異物を入れないでください。
発煙や発火・感電の原因となります。

本機を分解したり、改造しないでください。
事故・火災・感電の原因となります。

運転者は走行中に本機を操作、または注視しないでください。
交通事故やけがの原因となります。

運転者がテレビ等を見る場合は、必ず安全な場所に車を停車させてください。
交通事故の原因となります。

運転中には本機を操作しないで下さい。また、実際の交通規制に従って走行して下さい。
交通事故の原因となります。

⚠注意

直射日光が当たった場合などは、金属部分が高温になり、やけどする可能性があります。

ディスク /microSD カード /mini B-CAS カード挿入口に異物を入れないでください。
火災や感電、故障の原因となることがあります。

ディスク /microSD カード /mini B-CAS カード挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。

本機の電源が入っているとき、または電源を切った直後などに、本機裏側の放熱板や、アンプに触れないでください。
高温のため、やけどの原因となることがあります。

本機を車載用として以外は使用しないでください。
発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。

長時間ご使用にならないときは、ディスク /microSD カード /mini B-CAS カードを取り出しておいてください。
長時間、本機内に入れておくと、高温等のためにディスク /microSD カード /mini B-CAS カードを傷める原因となることがあります。

エンジンを停止したままで長時間ご使用にならないでください。
車のバッテリーがあがる恐れがあります。

運転中の音量は車外の音が聞こえる程度でご使用ください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

音声が割れる・ひずむなどの異常状態でご使用にならないでください。
火災の原因となることがあります。

ナビゲーションによるルート案内と実際の交通規制が異なる場合は、実際の交通規制にしたがって走行してください。
交通事故の原因となることがあります。

液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えないでください。
液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因となることがあります。

液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。
皮膚の炎症など原因となることがあります。
・万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
・目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で充分洗浄した後、医師に相談してください。

ディスク　/ microSD カード /mini B-CAS カードを出し入れするときは、シフトレバーがディスプレイ部に当たらない位置で行なってください。

使用上のご注意

安全運転の配慮

・安全運転の配慮から、ナビゲーション・テレビなどは停車させないと、一部の操作ができないようになっています。

・走行中はテレビ・DVD などの映像を見ることができません。音声のみでお楽しみください。
映像をご覧になるときは、必ず安全な場所に停車させ、パーキングブレーキをかけてください。

免責事項について

・火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。

・本機の使用または使用不能から生じる損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）につきましては、弊社は一切その責任をおいかねます。

・添付の保証書は､本機を業務用の車両（バス・トラック・タクシー・商用車など）に使用した場合、保証の対象にはなりません。

・他人に譲渡または処分などされる際は、本機に入力した個人情報（登録地点の住所や電話番号など）の取り扱い､管理（消去など）は、必ずお客様の責任において消去してください。

・本機の使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、ハードディスク内のファイルや基本プログラムなどが消失・変化した場合、また修理によって登録地点など、登録した内容が消去された場合は補償できません。

液晶パネルについて

・液晶の特性上、直射日光が反射して画面が見づらくなることがあります。

・ディスプレイの同じ場所に、赤い点や青い点などが現われる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの性質上起こるものであり、故障ではありません。

・寒いところ（0℃以下）で使用する場合、内部照明装置（バックライト）は暗くなりますが、本体の温度が上がると元に戻ります。

・液晶パネル面にフィルムを貼り付けた場合、貼り付け不良、またはずれがありますと正常に動作しないことがあります。

地図専用 microSD カードについて

・本機に格納されている microSD カードは、地図情報が書き込まれた専用の microSD カードです。必要なとき以外は抜き差ししないでください。

・microSD カードは、ダッシュボードの上や直射日光の当たる場所に放置しないでください。変形、故障の原因となります。

・microSD カードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。

・microSD カードの端子面に、手や金属で触れないでください。

・ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品で、microSD カードを拭かないでください。

・microSD カードの最適化、初期化は行わないでください。

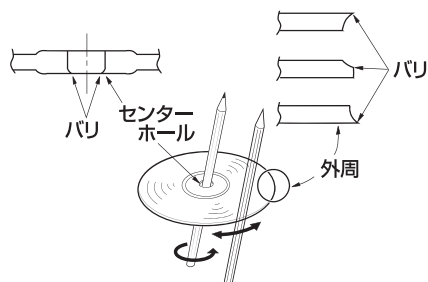
mini B-CAS カード取扱上の注意点

・折り曲げたり、変形させたり、傷つけたりしないでください。
・重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
・水をかけたり、ぬれた手で触らないでください。
・IC チップ部には手を触れないでください。
・分解・加工は行わないでください。
・本製品に付属の miniB-CAS カードは地上デジタル放送専用です。
・BS/110 度 CS デジタル放送対応受信機には使用できません。

※ mini B-CAS カードを破損したり、紛失・盗難された場合は、下記カスタマーセンターにお問い合わせください。

(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL: 0570-000-250
(詳しくは mini B-CAS カード台紙を参照ください。)

ディスクの取扱い

・定期的に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
・ディスクを持つときは記録面をできるだけさわらないようにしてください。
・印刷面や記録面に紙やシールなどを貼り付けたり、キズを付けないようにしてください。
・セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクはお使いにならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障する原因となることがあります。
・ディスクは使用中高速回転しますので、ヒビの入ったディスクや大きくそったディスクは使用しないでください。
・そらないように必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所には保管しないでください。特に夏期、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので放置しないでください。
・レコードスプレー、帯電防止剤などは使用しないでください。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけるとディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
・ディスクを取り出した直後は、ディスク自体が熱くなることがあります。取扱いには十分お気をつけください。
※本体の読み取り性能およびディスクへの影響はございません。
・新しいディスクをご使用になるとき、ディスクを入れても再生しない場合があります。これはディスクのセンターホールまたは外周にバリがあり、ディスクが正しくセットされないために発生するものです。この場合には下図のように、あらかじめボールペン等でバリを取り除いてからお使いください。

Bluetooth 機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用校内無線局（免許を要する無線局）及び、特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び、特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
2. 万一、この機器から移動体識別用構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を移動するか又は、電波の発射を停止し、電波干渉を避けて下さい。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことがおきたときは、お買い上げ販売店または弊社相談窓口までお問い合わせ下さい。

USB メモリについて

・マスストレージクラスの USB メモリに対応しています。

・USB メモリに記録されているファイルを本機で編集することはできません。

・USB メモリの音楽再生中に USB メモリを外さないでください。

・すべての USB メモリの動作保証するものではありません。

・本機で再生するファイルは必ずバックアップしてください。使用状況によっては USB メモリの保存内容が失われる恐れがあります。消失ファイルについては補償できませんのであらかじめ了承ください。

お手入れについて

・画面は指紋やホコリが付きやすいので、時々清掃してください。
清掃するときは、電源を切り柔らかい布で空拭きしてください。（汚れをおとす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布か、エタノールをしみ込ませた柔らかい布でふいてください。）ぬれたぞうきん・有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）・酸・アルカリ類は使用しないでください。
また硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

・キャビネットやパネル面にベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると、表面が侵されることがありますので使用しないでください。
またセロハンテープやばんそうこうなどの粘着性のものを貼ったりすることも、キャビネットを汚したり傷めますので避けてください。

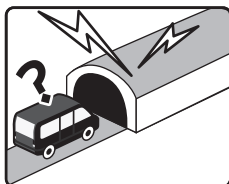
ユーザー登録

ユーザー登録をすると、インターネットでの各種サービスをご利用いただけます。

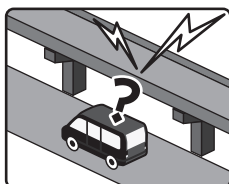
pd コミュニティ
http://passione.datawest.co.jp/

このマークは、データウエスト製品であることを証明するデータウエストオリジナルロゴです。

GPS について

本体と GPS 衛星の間に障害物があると、電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができなくなることや、誤差が生じる場合があります。
屋外の、電波をさえぎる障害物のない、見晴らしの良い場所が GPS の受信に適しています。
以下の条件での GPS の受信は適していません。

● トンネルの中

● 高層ビルに囲まれたところ

● 森林などの樹木の密集したところ

● 高速道路下やガード下など

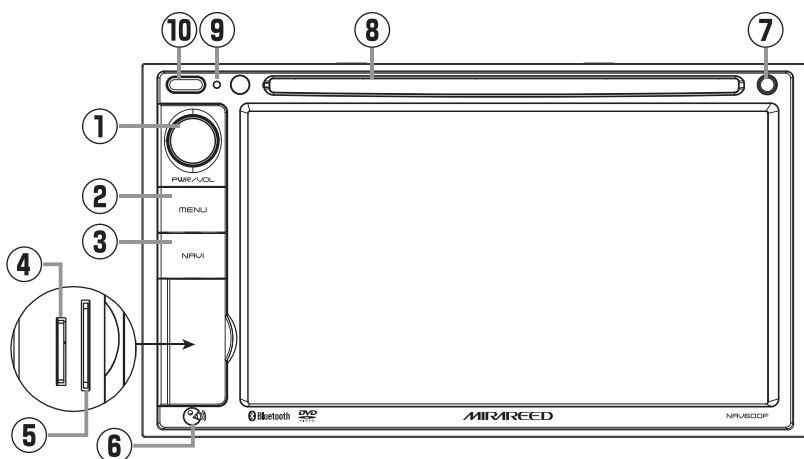
● 雷、雨、曇天などの悪天候下による場合
● 衛星の配置条件により受信可能な衛星が少ない時間帯

⚠ ご注意ください

本ナビゲーションでは GPS からの取得情報によりルート案内を行いますので、ナビゲーション上での誤差が大きい場合は、実際の交通規制を優先して、安全に走行してください。

お買い上げ後の最初の使用時や、また本機を長期間使用しなかった場合、ナビゲーション起動後、GPS 測位に時間がかかったり、測位可能状態でもしばらくの間、誤差が大きい場合があります。

本機について

各部の名称とはたらき

① POWER ボタン / VOL. ノブ
本機の電源を ON/OFF します。
イグニッション（キー）が ON のときに押すと、本機の電源が入ります。本機の電源が入ってるときに押し続けると、電源が切れます。
ノブを回すと音量を調整します。ノブを短押しすると、ミュートの ON/OFF が切り替わります。

② MENU ボタン
メインメニュー画面を表示します。

③ NAVI ボタン
ナビゲーションモードとオーディオモードを切り替えます。

④ 地図専用 microSD カード挿入口
地図専用 microSD カードが格納されています。プログラムの更新や地図更新を行う際に、カードの抜き差しを行います。その他の操作時は、抜き差ししないでください。

⑤ mini B-CAS カード挿入口
mini B-CAS カードを挿入します。

⑥ マイク
Bluetooth 対応携帯電話通話時に使用する内部マイクです。

⑦ AUX IN
AUX1 の入力端子です。外部機器を接続するときに使用します。

⑧ ディスク挿入口
ディスクを挿入します。

⑨ リセットボタン
折れにくい棒状の物などで押すと、システムが再起動します。

⑩ イジェクトボタン
挿入されているディスクを取り出します。

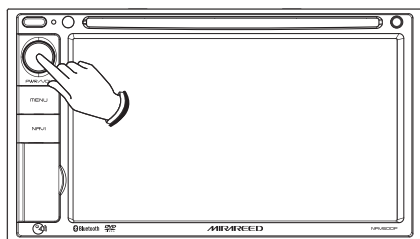
基本操作

電源の ON/OFF

電源を ON にする

イグニッション（キー） を「ACC」または「ON」にすると、本機に電源が供給されます。

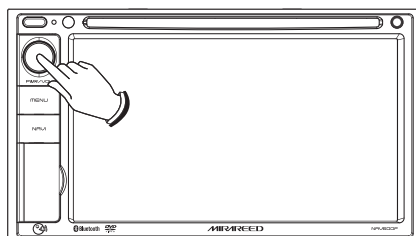
1 エンジンをかける。（ACC を ON にする）

2 POWER ボタンを押す。

本機の電源が入ります。

⚠注意

バッテリーあがり防止のため、本機をご使用するときは、エンジンをかけた状態で行ってください。

電源を OFF にする

1 POWER ボタンを長押しする。

電源が OFF になります。

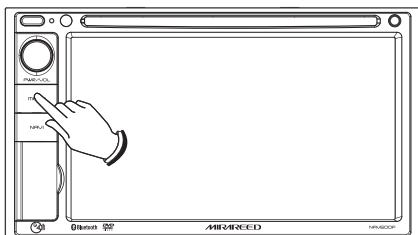
⚠注意

電源を切るときは、音量を最小にしてください。

電源を ON にしたとき突然大きな音が出て、聴覚障害などの原因になることがあります。

メインメニュー画面

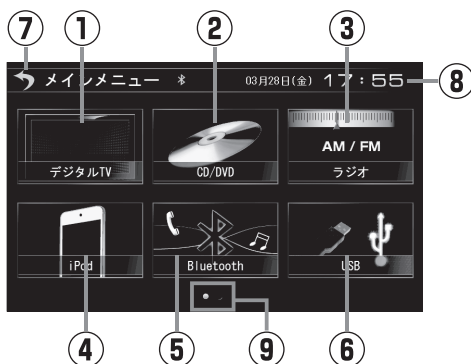
各メニュー画面を表示させる本機のメインメニュー画面です。

1 MENU ボタンを押す。

メインメニュー画面が表示されます。

▼

ページを切り替える

メインメニューの画面操作は、フリックオペレーションを採用しています。左右にフリック / ドラッグすると、メインメニュー画面がフリック / ドラッグした方向に切り替わります。
画面の下に表示されている丸の色により、ページを区別することができます。

メインメニュー画面

① [デジタル TV]
テレビ画面を表示します。
→「テレビ」P.26

② [CD/DVD]
CD/DVD 画面を表示します。
→「CD/DVD」P.36

③ [ラジオ]
ラジオ画面を表示します。
→「ラジオ」P.48

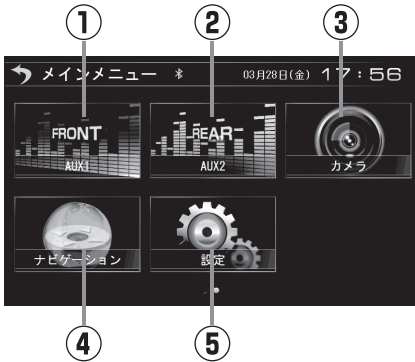
④ [iPod]
iPod 画面を表示します。
→「iPod」P.56

⑤ [Bluetooth]
Bluetooth 画面を表示します。
→「Bluetooth」P.64

⑥ [USB]
USB 画面を表示します。
→「USB」P.76

⑦ 戻るボタン
前の画面に戻ります。

⑧ 現在時刻
現在時刻を表示します。また、この部分をタッチすると時計表示画面に切り替わります。

⑨ ページ表示

① [AUX 1]
AUX 1 画面を表示します。
→「AUX1/AUX2」P.88

② [AUX 2]
AUX 2 画面を表示します。
→「AUX1/AUX2」P.88

③ [カメラ]
カメラ画面を表示します。
→「カメラ」P.90

④ [ナビゲーション]
ナビゲーション画面を表示します。
→取扱説明書「ナビゲーションソフトウェア編」

⑤ [設定]
設定メニュー画面を表示します。
→「設定」P.92

音量を調整する

音量を大きくする

1 VOL. ノブを右に回す。

音量が大きくなります。

音量を小さくする

1 VOL. ノブを左に回す。

音量が小さくなります。

ミュートの ON/OFF

1 VOL. ノブを押す。

ミュート（消音）が ON になります。
再度 VOL. ノブを押すと復音します。

⚠注意

運転中は、車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

ディスクについて

再生できるディスクについて

本機では、以下のマークのある市販ディスクとメディアファイルを再生できます。

再生できるディスク	

■ 再生できる DVD

- DVD-R
- DVD+R
- DVD-RW
- DVD+RW
- DVD-R DL
- DVD+R DL

■ 再生できる CD

- 音楽 CD
- CD-R
- CD-RW
- VCD

TIPS

- ディスクの傷や汚れ、指紋など、車内や本機に長時間放置、データ書き込み状態が不安定、データ書き込みに失敗し再録音した場合は、再生できない場合があります。
- ディスクの記録状態またはディスク自体の状態によって再生できない場合があります。
- DVD-R/DVD-RW/DVD-R DL/DVD+R/DVD+RW/DVD+R DL/CD-R/CD-RW ディスクをご使用になる場合、録画された機器で「ファイナライズ処理」を行なっていただく必要があります。ファイナライズ処理を行なわないと、録画された機器以外の他のプレーヤー（本機など）で再生できない場合があります。
  ※ファイナライズ処理については、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

ディスクの挿入と取り出し

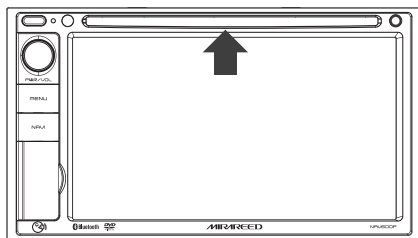
⚠注意

- 安全のため、運転者は走行中にディスクの挿入や取り出し、その他の操作を行わないでください。
- ディスクの挿入口に異物を入れないでください。
- ディスクの挿入しにくい場合は、本機の中にすでに他のディスクが入っている可能性がありますので、無理に挿入しないでください。

ディスクの挿入

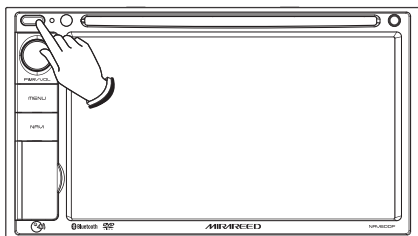
1 POWER ボタンを押す。

電源が入ります。

2 ディスクをディスク挿入口に挿入します。

ディスクラベルを上にしてディスク挿入口の中央に挿入します。

ディスクが読み込み中になり、自動的に再生されます。

ディスクの取り出し

1 イジェクトボタンを押します。

ディスクを取り出すと、ラジオ画面に切り替わります。

排出されたディスクをそのままにしておくと、自動的にディスクが引き込まれます。

TIPS

・排出されたディスクが自動的に引き込まれる前に、無理にディスクを押し込むとディスク表面にキズがつく場合があります。

・ディスクが損傷しないよう、ディスクが排出されてから取り出すようにしてください。

⚠注意

下記のディスクは取り出せなくなる恐れがありますのでご使用しないでください。

・8cm CD/8cm CD アダプター

・特殊形状ディスク（ハート型や八角形など）

・デュアルディスク（Dual Disc）

・ラベル、テープ、保護シートなどを貼りつけたディスク、保護シートを装着したディスク

メディアについて

再生できるメディアについて

本機で、再生できるオーディオ・ビデオメディアは以下の通りです。

DVD

市販されているDVDです。
本機で再生できるディスク、再生できないディスクは、以下をご覧ください。
→「ディスクについて」P.21

DVD-RディスクなどにMP3/AAC形式の音楽ファイルやAVI形式などの動画ファイルを保存して楽しむことができます。

本機でDVDをお楽しみいただくには、以下をご覧ください。
→「DVD再生について」P.41

CD

市販されているCDです。
本機で再生できるディスク、再生できないディスクは、以下をご覧ください。
→「ディスクについて」P.21

CD-RディスクなどにMP3/AAC形式の音楽ファイルを保存して楽しむことができます。

本機でCDをお楽しみいただくには、以下をご覧ください。
→「CD再生について」P.37

USBメモリ

ご使用できるUSB条件
・USB1.1/2.0
　対応フォーマット　FAT/FAT32
・MSC（USB mass storage class）対応品
※ 上記に準拠していないUSB機器は接続しないでください。正しく再生できません。
　また上記を満たしているUSB機器でも、機種や状況によって正しく再生できない場合があります。

USBメモリにMP3/AAC/FLAC形式の音楽ファイルやAVI形式などの動画ファイルを保存して楽しむことができます。

本機でUSBメモリをお楽しみいただくには、以下をご覧ください。

→「USB」P.76

再生できるファイル形式

本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアのファイル形式は以下の通りです。

メディア	分類	フォーマット	拡張子	映像形式	音声形式
USB メモリ	音楽	MP3	.mp1 .mp2 .mp3	－	MP1,MP2,MP3
		AAC	.aac	－	AAC
		FLAC	.flac	－	FLAC
		APE	.ape	－	APE
	写真	JPEG	.jpg .jpeg	－	－
		PNG	.png	－	－
		GIF	.gif	－	－
	動画	MPEG	.mpg .mpeg	MPEG1/2	MP2,MP3
		AVI	.avi	MPEG2	MP3,AC3,PCM
		RM	.rm .rmvb	RV8/9/10	COOK,AAC
		MKV	.mkv	MPEG2	MP2,MP3,AC3 AAC,PCM,FLAC
CD/ DVD	音楽	MP3	.mp2 .mp3	－	MP2,MP3
		M4A	.m4a	－	AAC
	写真	JPEG	.jpg .jpeg	－	－
	動画	MPEG	.mpg .mpeg	MPEG1/2	MP2

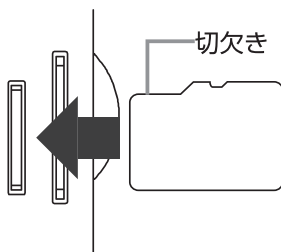
地図専用 microSD カードについて

本機でナビゲーションを起動するには、地図専用 microSD カードの装着が必要です。

TIPS

microSD カードのご使用に際しては、以下をご覧になり正しくお使いください。
→「地図専用microSDカードについて」P.12

1 エンジンを切って、カバーを開く。

2 地図専用 microSD カード挿入口に地図専用 microSD カードを差し込む。

本体表面の microSD カード印字面を左側、切欠きのある方向から「カチッ」と音がするまで奥に差し込んでください。

3 カバーを閉じる。

⚠必ずお読みください。

地図専用 microSD カードを抜き差しする際は必ず電源を切った状態で行ってください。故障の原因となります。

テレビ

テレビ（地デジ）について

本機では地上デジタル放送のテレビを視聴することができます。
本機で視聴するには、mini B-CAS カードの装着が必要です。

⚠警告

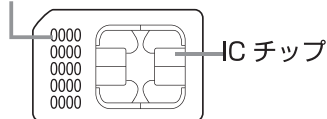
- **運転者がテレビを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみテレビの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。**

TIPS

- 地上デジタル放送を受信するには、同梱の受信用アンテナを接続してください。
- 本機は地上デジタル 12 セグ放送とワンセグ放送を自動切り替え機能を備えています。12 セグ放送の受信状態が悪化したときに、自動的にワンセグ放送に切り替えられます。
- 地上デジタル放送受信時、弱電界の場所では画像が乱れることがありますが、故障ではありません。また画像が一時止まる場合がありますが、デジタル処理によるもので故障ではありません。

mini B-CAS カードをセットする

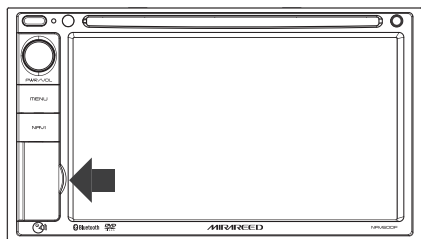
mini B-CAS カードについて

mini B-CAS カード番号は mini B-CAS カードを管理するための番号です。お問い合わせの際にも必要になるため、必ずメモしてください。

⚠必ずお読みください。

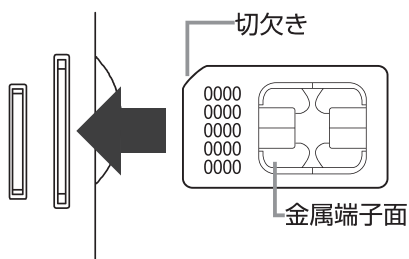
- **mini B-CAS カード台紙に記載の文面を必ずよくお読みのうえ、挿入してください。**
- **使用許諾契約約款をよくお読みください。mini B-CAS カードのパッケージを開封すると、使用許諾契約約款に同意したものとみなされます。**
- **mini B-CAS カードを挿入しないと、地上デジタル放送を受信することはできません。**

TIPS

mini B-CAS カードのご使用に際しては、以下をご覧になり正しくお使いください。
→「mini B-CAS カード取扱上の注意点」P.13

1 エンジンを切って、カバーを開く。

2 mini B-CAS カードを台紙から取り外す。

miniB-CAS カードのパッケージを開封すると、台紙に記載の使用許諾契約約款に同意したものとみなされるため、開封前に必ずお読みください。

3 mini B-CAS カード挿入口に mini B-CAS カードを差し込む。

金属端子面を左側、切欠きのある方向から「カチッ」と音がするまで奥に差し込んでください。

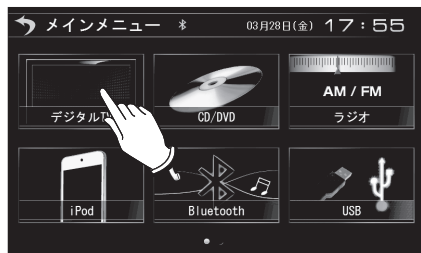
4 カバーを閉じる。

⚠必ずお読みください。

mini B-CAS カードを抜き差しする際は必ず電源を切った状態で行ってください。故障の原因となります。

テレビを起動する

1 メインメニュー画面で [デジタル TV] をタッチする。

→「メインメニュー画面」P.19

テレビ画面が表示されます。

2 画面をタッチする。

テレビ操作メニューが表示されます。

TIPS

テレビ画面のときに、画面をタッチすると、テレビメニューが表示されます。テレビメニューは、しばらく操作しないと自動で閉じます。

テレビ操作メニュー画面

① **[メニュー]**
テレビ設定メニューを表示します。

② **[リスト]**
チャンネルリストを表示します。

③ **チャンネルアップボタン**

④ **チャンネルダウンボタン**

⑤ **[サーチ]**
チャンネルサーチをします。

⑥ **[番組表]**
テレビ番組表を表示します。

テレビ画面の操作

はじめてテレビを見るとき

はじめてテレビを見るときは、チャンネルスキャンをする必要があります。

1 画面をタッチする。

テレビ操作メニューが表示されます。

2 [サーチ] をタッチする。

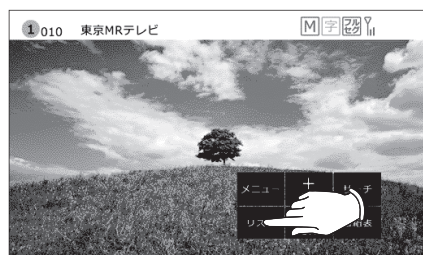
チャンネルスキャンが開始され、受信できる放送局を探して登録されます。

チャンネルスキャンが終了すると、テレビ画面に切り替わります。

チャンネルリストから選局する

1 画面をタッチする。

テレビ操作メニューが表示されます。

2 [リスト] をタッチする。

チャンネルリストが表示されます。

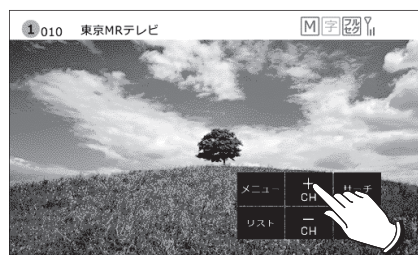
3 [UP] または [DOWN] で選択して [決定] をタッチする。

選局したチャンネルを受信します。

チャンネルボタンで選局する

1 画面をタッチする。

テレビメニューが表示されます。

2 チャンネルダウンボタンまたはチャンネルアップボタンをタッチする。

チャンネルスキャンで登録されたチャンネルのアップまたはダウン選局を行います。

番組表を見る

現在受信中の番組表を表示します。

1 **画面をタッチする。**

テレビ操作メニューが表示されます。

2 **[番組表] をタッチする。**

現在受信中チャンネルの番組表一覧が表示されます。

3 **[UP] または [DOWN] で選択して [決定] をタッチする。**

詳細情報が表示されます。確認後は [戻る] をタッチします。

TIPS

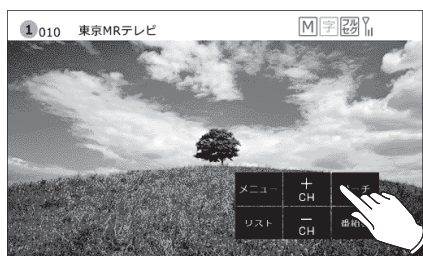
走行中は、本操作を行えません。

受信可能な放送局を探す

地域を移動した場合は、チャンネルスキャンを行なって、受信可能な放送局を探すことができます。

1 **画面をタッチする。**

テレビ操作メニューが表示されます。

2 **[サーチ] をタッチする。**

チャンネルスキャンが開始され、受信できる放送局を探して登録されます。

チャンネルスキャンが終了すると、テレビ画面に切り替わります。

テレビ画面の設定

地上デジタル放送でフルセグやワンセグ共通の各種設定・編集をすることができます。

受信方法を設定する

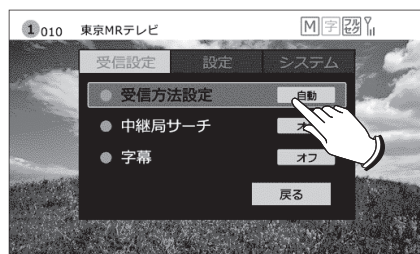
本機の地上デジタル TV チューナーはフルセグ放送受信時に電波が弱くなった場合、フルセグ放送からワンセグ放送へ自動的に切り替える機能を搭載しています。

1 画面をタッチする。

テレビ操作メニューが表示されます。

2 [メニュー] をタッチする。

テレビ設定メニューが表示されます。

3 受信設定タブを選択して、[受信方法設定] をタッチする。

受信方法設定メニューが表示されます。

4 設定メニューを選択して、[決定] をタッチする。

[自動]
フルセグ放送とワンセグ放送を自動で切り替えます。

[フルセグ]
フルセグ放送を受信します。

[ワンセグ]
ワンセグ放送を受信します。

TIPS

- 自動に設定中は、フルセグ放送を視聴中に受信電波が悪くなると、視聴していたチャンネルのワンセグ放送に自動的に切り替わります。
- ワンセグ放送の受信感度が悪い場合やフルセグで視聴していたチャンネルにワンセグ放送がない場合には、自動的に切り替わりません。
- 放送局によっては、フルセグ放送とワンセグ放送とで番組が異なる場合があります。
- フルセグに設定中、電波が弱くなった場合は、ワンセグ放送に切り替わらずに、画像が映らなくなります。

中継局を自動で探す

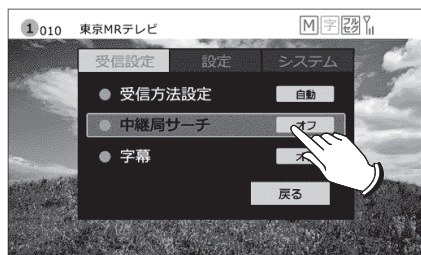
電波受信が弱く映りが悪いときなど、受信状況に応じて最適な中継局・系列局を自動的にサーチする、しないを設定します。

1 画面をタッチする。

テレビ操作メニューが表示されます。

2 [メニュー] をタッチする。

テレビ設定メニューが表示されます。

3 受信設定タブを選択して、[中継局サーチ] をタッチする。

中継局サーチ設定メニューが表示されます。

4 設定メニューを選択して、[決定] をタッチする。

[オフ]
中継局・系列局の自動サーチを行いません。

[オン]
約 15 秒間連続して受信なしと判断すると中継局・系列局サーチを開始します。

TIPS

中継局・系列局サーチは、受信中の放送局が複数のチャンネル(中継局·系列局)を使って放送している場合、受信状態の最適なチャンネルを探して見ることができます。移動などにより、受信している番組が見づらくなったときなどにご使用ください。

字幕表示を切り替える

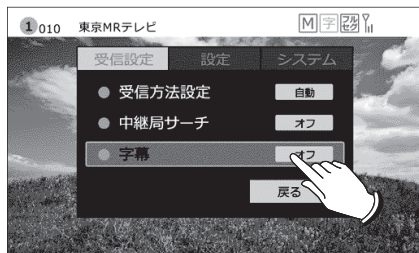
字幕のついた番組受信中に字幕を表示する機能を設定します。本機では第一言語のみ表示できます。字幕放送の有無、字幕表示 / 非表示についてはチャンネル番号を表示する覧をご覧ください。

1 画面をタッチする。

テレビ操作メニューが表示されます。

2 [メニュー] をタッチする。

テレビ設定メニューが表示されます。

3 受信設定タブを選択して、[字幕] をタッチする。

字幕設定メニューが表示されます。

4 設定メニューを選択して、[決定] をタッチする。

字幕の表示の ON/OFF を選択します。

言語を切り替える

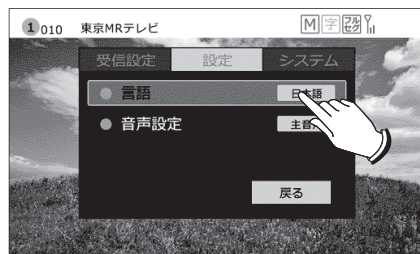
テレビ設定メニューの言語を切り替えます。

1 画面をタッチする。

テレビ操作メニューが表示されます。

2 [メニュー] をタッチする。

テレビ設定メニューが表示されます。

3 設定タブを選択して、[言語] をタッチする。

言語設定メニューが表示されます。

4 設定メニューを選択して、[決定] をタッチする。

[英語]
英語で表示されます。

[日本語]
日本語で表示されます。

二重音声を切り替える

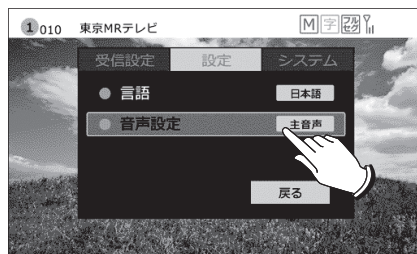
主音声 / 副音声がある番組で、音声を切り替えます。

1 画面をタッチする。

テレビ操作メニューが表示されます。

2 [メニュー] をタッチする。

テレビ設定メニューが表示されます。

3 設定タブを選択して、[音声設定] をタッチする。

音声設定メニューが表示されます。

4 設定メニューを選択して、[決定] をタッチする。

主音声か副音声を選択します。

TIPS

副音声の状態でほかのチャンネルに切り替えたとき、同じく副音声で放送されていれば、そのまま継続されます。

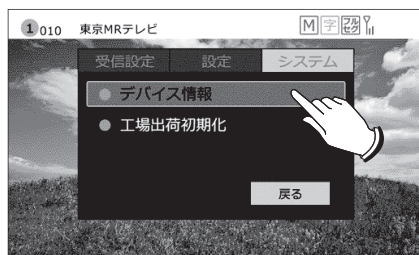
デバイス情報を確認する

1 **画面をタッチする。**

テレビ操作メニューが表示されます。

2 **[メニュー] をタッチする。**

テレビ設定メニューが表示されます。

3 **システムタブを選択して、[デバイス情報] をタッチする。**

デバイス情報ダイアログが表示されます。確認後は [戻る] をタッチします。

テレビの設定情報を初期化する

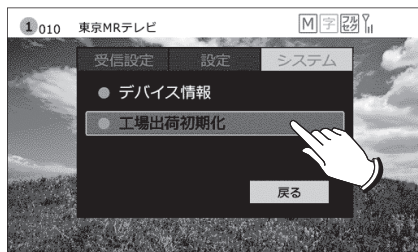
テレビの設定情報を工場出荷状態に戻します。

1 **画面をタッチする。**

テレビ操作メニューが表示されます。

2 **[メニュー] をタッチする。**

テレビ設定メニューが表示されます。

3 **システムタブを選択して、[初期設定] をタッチする。**

初期化確認ダイアログが表示されます。

4 **[決定] をタッチする。**

設定メニューで設定した項目およびプリセットチャンネルリストを初期化します。

TIPS

- 初期化メッセージ表示中には、エンジンを切らないでください。初期化中にエンジンを切った場合、初期化できないことがあります。
- 出荷状態に戻したときは。必ずチャンネルスキャンを行ってください。

CD/DVD

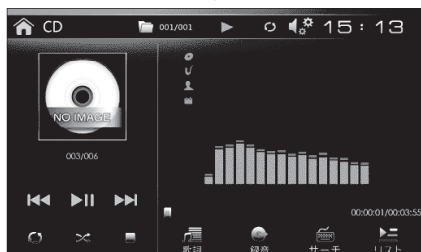
CD 再生について

本機は CD を再生することができます。→「ディスクについて」P.21

1 ディスク挿入口に CD を入れる。

→「ディスクの挿入と取り出し」P.21

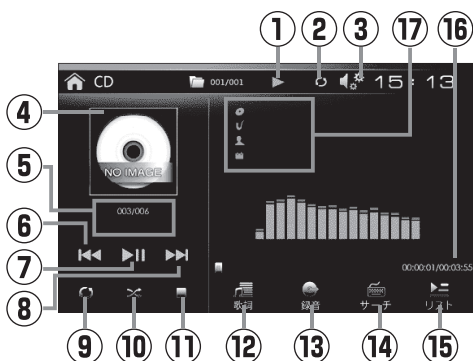
自動的に CD 画面が表示され、再生が始まります。

▼

TIPS

すでにディスクが入っている場合は、メインメニュー画面の [CD/DVD] をタッチすると、CD 画面が表示され、再生が始まります。

⚠警告

安全のため、運転者は走行中にディスクの挿入や取り出し、その他の操作を行わないでください。

CD 画面

① **再生ステータス**

② **リピート・ランダムステータス**

③ **EQ 設定ボタン**
EQ 設定画面を表示します。
→「EQ 設定画面」P.96

④ **アルバムアートワーク表示**
現在のオーディオファイルで、アルバムアートイメージが保存されている場合、画像が表示されます。

⑤ **トラック番号・再生中の曲のタイトル表示**

⑥ **前へボタン**
前のトラックを再生します。

⑦ **再生 / 一時停止ボタン**

⑧ **次へボタン**
次のトラックを再生します。

⑨ **リピートボタン**
全リピート / リピートオフ / 1 トラックリピートの順に切り替えます。

⑩ **ランダムボタン**
ランダム再生に切り替えます。

⑪ **停止ボタン**
音楽再生を停止します。

⑫ **歌詞 / 曲情報ボタン**
歌詞と曲情報を切り替えます。

⑬ **[録音]**
録音（リッピング）画面が表示されます。

⑭ **[サーチ]**
数字入力画面が表示されます。

⑮ **[リスト]**
トラックリストが表示されます。

⑯ **再生経過時間 / シークバー / 再生所要時間表示**

⑰ **再生中の曲のタイトル、アーティスト、アルバム、発売年表示**

CD 画面の操作

再生・一時停止する

1 **再生 / 一時停止ボタンをタッチする。**

再生を一時停止するには、一時停止ボタンをタッチします。

一時停止中に再生ボタンをタッチすると、一時停止したところから、再生が始まります。

トラックを送る・戻す

1 **前へボタンまたは次へボタンをタッチする。**

次のトラックを再生するには、次ボタンをタッチします。

前のトラックを再生するには、前ボタンをタッチします。

早送り・早戻しする

1 **シークバー上の四角を再生を開始したい位置までドラッグする。**

シークバー上の四角を動かした位置から再生が開始されます。

リピート再生する

1 **リピートボタンをタッチする。**

タッチするごとに、全リピート、リピートオフ、1 トラクッリピートの順で変更されます。

リピート・ランダムステータスに設定が表示されます。

ランダム再生する

1 **再生中にランダムボタンをタッチする。**

トラックのランダム再生が開始されます。

リピート・ランダムステータスに設定が表示されます。

リストから再生する

1 **リストボタンをタッチする。**

トラックリストが表示されます。

2 **リスト上のトラックタイトルにタッチする。**

タッチしたトラックの再生が開始されます。

TIPS

- リスト上のフォルダをタッチすると、タッチしたフォルダ内のファイルリストが表示されます。
- 再生したいファイルが表示されていないときは、リストを上下にドラッグ（タッチしたままスライド）してリストを切り替えます。
- リストの一番上のリストボタンをタッチすると上の階層のフォルダへ移動します。

トラック番号で再生する

1 **[サーチ] をタッチする。**

数字入力画面が表示されます。

2 **トラック番号を入力して、[OK] をタッチする。**

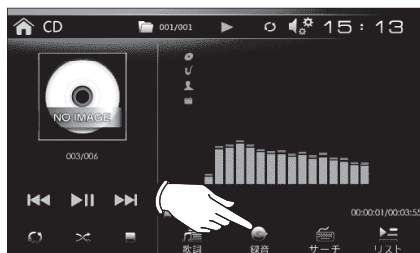
入力したトラック番号のトラックが再生されます。

TIPS

入力したトラック番号がない場合、またはトラック番号による再生ができない場合、画面の表示は変更されません。

録音（リッピング）する

本機で CD に記録されている音楽ファイルを抽出し、USB メモリに保存することができます。

1 **[録音] をタッチする。**

録音画面が表示され、録音（リッピング）が開始されます。

2 **録音が終了したら、[OK] をタッチする。**

USB メモリに音楽ファイルが保存されます。

TIPS

USB メモリを本機に接続されていない場合は、録音（リッピング）はできません。

歌詞を表示する

音楽に歌詞情報がある場合、歌詞を表示することができます。

歌詞表示は、同期テキスト（lrc 形式ファイル）に対応しています。

同期テキスト（lrc 形式ファイル）の詳細

・拡張子：lrc
・ファイル名：音楽ファイルと同じファイル名
・格納場所：音楽ファイルと同じ場所
・文字コード：UTF-8

DVD 再生について

本機は、DVD の高画質･高音質を再現することができます。本機の DVD 機能は、DVD-Video、DVD-VR モードに対応しています。

1 ディスク挿入口に DVD を入れる。

→「ディスクの挿入と取り出し」P.21

自動的に DVD 画面が表示されます。

▼

TIPS

・すでにディスクが入っている場合は、メインメニュー画面の [CD/DVD] をタッチすると、DVD 画面が表示され、再生が始まります。

・DVD 画面で再生時に画面をタッチすると、操作バーに DVD メニューが表示されます。操作バーは、しばらく操作しないと自動で閉じます。

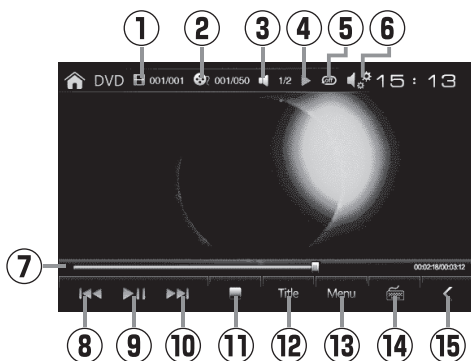
⚠警告

・安全のため、運転者は走行中にディスクの挿入や取り出し、その他の操作を行わないでください。

・運転者が DVD の映像を見る場合は、必ず安全な場所に車を停車させてください。

・安全のため本機は停車時のみ DVD の映像をご覧いただけます。走行中は音声のみお楽しみください。

・一部の DVD は、想定以上の大きな音量で収録されているものがあります。音量は、再生開始後に小さな音量から徐々に上げてください。

DVD 画面

① タイトルステータス

② チャプターステータス

③ 音声ステータス

④ 再生ステータス

⑤ リピート・ランダムステータス

⑥ EQ ボタン
EQ 画面を表示します。
→「EQ 設定画面」P.96

⑦ 再生経過時間 / シークバー / 再生所要時間

⑧ 前へボタン
前のチャプターを再生します。

⑨ 再生 / 一時停止ボタン

⑩ 次へボタン
次のチャプターを再生します。

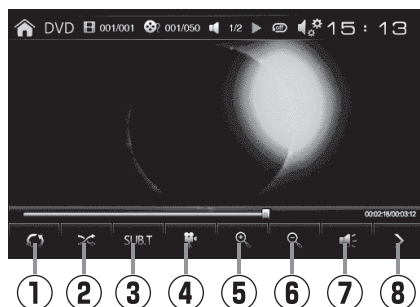
⑪ 停止ボタン
DVD 再生を停止します。

⑫ [Title]
Title メニューを表示します。

⑬ [MENU]
DVD メニューを表示します。

⑭ サーチボタン
数字入力画面を表示します。

⑮ 設定ボタン
DVD 設定メニュー画面を表示します。

DVD 設定メニュー画面

① リピートボタン
チャプターリピート / タイトルリピート / 全リピート / リピートオフの順に切り替えます。

② ランダムボタン
ランダム再生に切り替えます。

③ 字幕ボタン
ディスクに２種類以上の字幕言語が収録されている場合、再生中に字幕言語を切り替えます。

④ アングルボタン
ディスクに２種類以上のアングルが収録されている場合、再生中にアングルを切り替えます。

⑤ 拡大ボタン

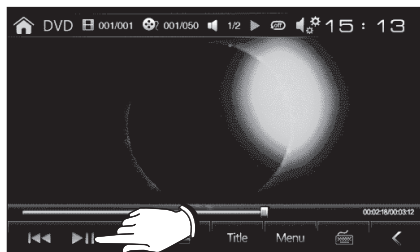
⑥ 縮小ボタン

⑦ 音声ボタン
ディスクに２種類以上の音声が収録されている場合、再生中に音声を切り替えます。

⑧ 閉じるボタン
DVD 設定メニュー画面を閉じます。

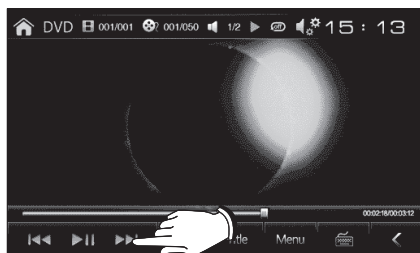
DVD 画面の操作

再生 / 一時停止する

1 **再生 / 一時停止ボタンをタッチする。**

再生を一時停止するには、一時停止ボタンをタッチします。

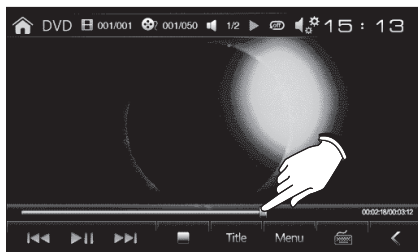
一時停止中に再生ボタンをタッチすると、一時停止したところから、再生が始まります。

チャプターをスキップする

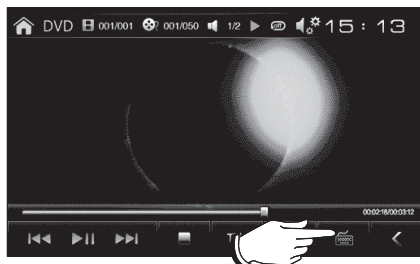
1 **再生中に前へボタンまたは次へボタンをタッチする。**

次のトラックを再生するには、次ボタンをタッチします。

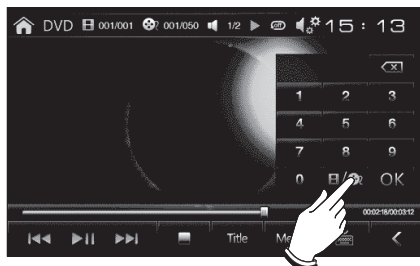
前のトラックを再生するには、前ボタンをタッチします。

早送り・早戻しする

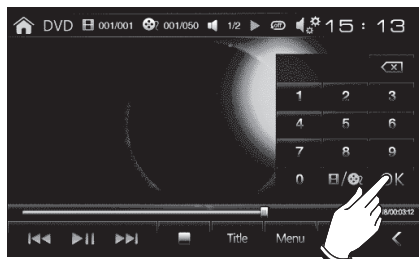
1 **シークバー上の四角を再生を開始したい位置までドラッグする。**

シークバー上の四角を動かした位置から再生が開始されます。

チャプター / タイトル番号で再生する

1 サーチボタンをタッチする。

数字入力画面が表示されます。

2 チャプターまたはタイトルをタッチする。

チャプター番号を入力するには、チャプターをタッチします。

タイトル番号を入力するには、タイトルをタッチします。

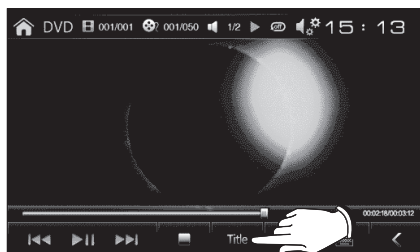
3 番号を入力して、[OK] をタッチする。

入力したチャプター番号 / タイトル番号のシーンから再生されます。

TIPS

入力したチャプター番号 / タイトル番号がない場合、またはトラック番号による再生ができない場合、画面の表示は変更されません。

タイトルメニューから再生する

2 つ以上のタイトルが収録されている DVD ディスクの場合、再生するタイトルをタイトルメニューから選択することができます。

1 再生中に DVD タイトルメニューボタンをタッチする。

タイトルメニュー表示されます。

2 タイトルメニューにタッチし、方向ボタン表示をタッチする。

方向ボタンが表示されます。

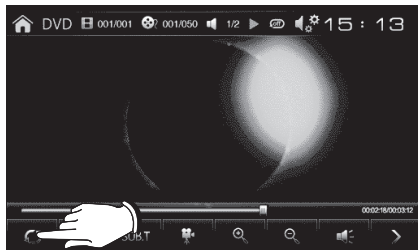
3 タイトルメニューを選択して、[OK] をタッチする。

方向ボタンをタッチして、タイトルメニューを選択します。[決定] をタッチすると選択したタイトルが再生されます。

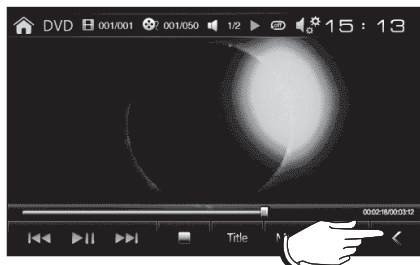
リピート再生する

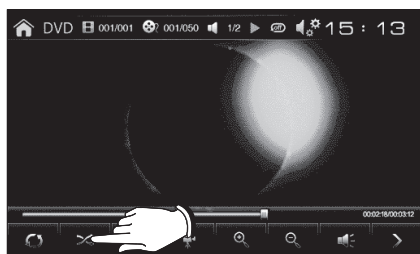
1 設定ボタンをタッチする。

DVD 設定メニューが表示されます。

2 リピートボタンをタッチする。

リピートボタンをタッチするたびに、チャプターリピート、タイトルリピート、リピートオフの順に切り替わります。

ランダム再生する

1 **設定ボタンをタッチする。**

DVD 設定メニューが表示されます。

2 **ランダムボタンをタッチする。**

チャプターのランダム再生が開始されます。

ランダム再生を終了するには、リピートボタンを設定します。

音声を切り替える

ディスクに 2 種類以上の音声または音声言語が収録されている場合、再生中に音声を切り替えることができます。

1 **設定ボタンをタッチする。**

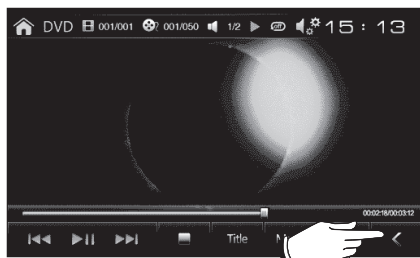
DVD 設定メニューが表示されます。

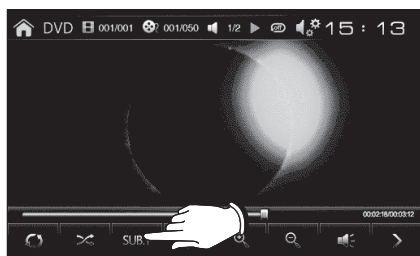
2 **音声ボタンをタッチする。**

タッチするたびに、音声が切り替わります。

字幕を切り替える

ディスクに 2 種類以上の字幕言語が収録されている場合、再生中に字幕言語を切り替えることができます。

1 設定ボタンをタッチする。

DVD 設定メニューが表示されます。

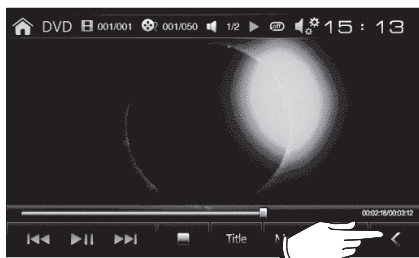
2 字幕ボタンをタッチする。

タッチするたびに、字幕が切り替わります。

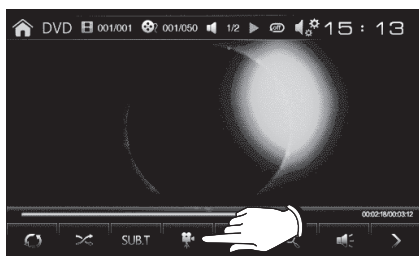
TIPS

字幕言語を表示させたくない場合は、字幕言語が表示されなくなるまで字幕ボタンのタッチを繰り返します。

アングルを切り替える

ディスク内の映像に 2 種類以上のアングルが収録されている場合、再生中にアングルを切り替えることができます。

1 設定ボタンをタッチする。

DVD 設定メニューが表示されます。

2 アングルボタンをタッチする。

タッチするたびに、アングルが切り替わります。

ラジオ

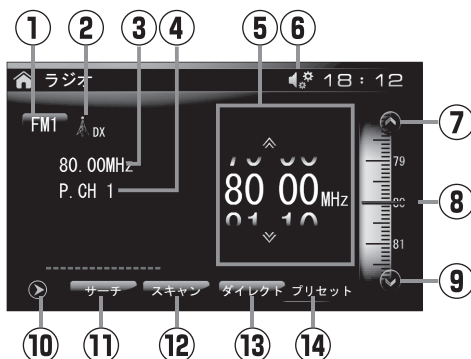
ラジオについて

本機はラジオを聴くことができます。

1 メインメニュー画面で [ラジオ] をタッチする。

→「メインメニュー画面」P.19

ラジオ画面が表示され、ラジオを受信します。

ラジオ画面

① **バンドボタン**
ラジオバンドを切り替えます

② **現在のモード**

③ **現在の放送局の周波数**

④ **プリセットチャンネル**

⑤ **ダイレクトメニュー / プリセットメニュー**
ダイレクトメニューの場合は、シークボタンと現在の放送局周波数が表示されます。
プリセットメニューの場合は、現在のラジオバンドのプリセットリストが表示されます。

⑥ **EQ 設定ボタン**
EQ 設定画面を表示します。
→「EQ 設定画面」P.96

⑦ **チューニングボタン**
高い周波数へ手動チューニングをします。

⑧ **周波数バー**

⑨ **チューニングボタン**
低い周波数へ手動チューニングをします。

⑩ **設定ボタン**
ラジオ設定メニューを表示します。

⑪ **[サーチ]**
数字入力画面が表示されます。

⑫ **[スキャン]**
プリセットスキャンをします。

⑬ **[ダイレクト]**
ダイレクトメニューに切り替えます。

⑭ **[プリセット]**
プリセットメニューに切り替えます。

ラジオ設定メニュー画面

① **オートプリセット**
[開始] をタッチするとオートプリセットを開始します。

② **モード**
[DX]/[LOC] を選んで、受信感度を切り替えます。

③ **閉じるボタン**
ラジオ設定メニューを閉じます。

放送局を選局する

ラジオバンドの選択

本機には、FM1/FM2/FM3/AM1 の4 つのラジオンバンドがあります。

1 バンドボタンをタッチする。

タッチするごとに、ラジオ受信バンドが FM1、FM2、FM3、AM1 の順で変更されます。

ステップ選局

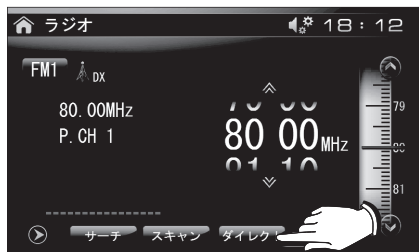
周波数を段階的に変えて選局します。

1 チューニングボタンをタッチする。

より高いまたはより低い周波数に 1 ステップずつ変化し、選局します。

シーク選局

自動で周波数を切り替え選局します。

1 [ダイレクト] をタッチする。

ダイレクトメニューが表示されます。

2 シークボタンをタッチする。

より高いまたはより低い周波数へ自動で切り替え選局します。

TIPS

放送局を受信すると、シークを停止して放送局の放送が始まります。

シーク感度切替

シークの停止感度を切り替えることで、受信信号の強弱に応じた放送が受信できます。

1 設定ボタンをタッチする。

ラジオ設定メニューが表示されます。

2 モードの [LOC] または [DX] をタッチする。

強い電波のみを受信するには、[LOC] をタッチします。

弱い電波も受信するには [DX] をタッチします。

TIPS

[LOC] にすると、受信できる放送局の数が減少します。

周波数を入力して選局

周波数を入力して、選局することができます。

1 [サーチ] をタッチする。

数字入力画面が表示されます。

2 周波数を入力して、[OK] をタッチする。

入力した周波数を受信します。

プリセットスキャン選局

プリセットスキャンで、現在のメモリに保存されている放送局を順番に受信します。この機能は、メモリ内にある目的の放送局を検索します。

1 [スキャン] をタッチする。

プリセットされている放送局を順番に受信します。受信周波数の表示色も変わります。

2 目的の放送局を受信したら、[中止] をタッチする。

プリセットスキャン動作が解除され、受信中の放送局が継続して受信します。

登録した放送局から選局

1 バンドボタンをタッチする。

FM1/FM2/FM3/AM1 を選択します。

2 [プリセット] をタッチする。

現在のラジオバンドのプリセットリストが表示されます。

3 プリセットされた放送局をタッチする。

タッチした周波数を受信します。

放送局を登録する

自動で登録する（オートプリセット）

十分な信号強度がある放送局を探知し、FM 局は FM1/FM2/FM3 のラジオバンドに、AM 局は AM1 のラジオバンドに放送局を自動で登録（オートプリセット）する機能です。

1 バンドボタンをタッチする。

FM 局をオートプリセットするには、[FM1/FM2/FM3] のいずれかのラジオバンドを、

AM 局をオートプリセットするには、[AM1] のラジオバンドに、バンドボタンをタッチして切り替えます。

2 設定ボタンをタッチする。

ラジオ設定メニューが表示されます。

3 オートプリセットの [開始] をタッチする。

放送局のスキャンが開始され、探知した放送局を、表示中のラジオバンドに登録します。

TIPS

- 自動登録（オートプリセット）では、FM 局は表示中のバンド（FM1/FM2/FM3）、AM 局は AM1 のラジオバンドに登録されます。
- FM1/FM2/FM3/AM1 バンドに登録できる放送局は各 12 局です。
- オートプリセットを停止するには、[中止] をタッチします。
- オートプリセットを行うと、以前登録した放送局は上書きされます。
- 登録終了後、プリセットスキャンを実施します。

手動で登録する（手動プリセット）

放送局を手動で登録します。

1 バンドボタンをタッチする。

FM1/FM2/FM3/AM1 のいずれかのラジオバンドに、バンドボタンをタッチして切り替えます。

2 登録したい放送局を選局する。

ステップ選局、シーク選局、プリセット選局などを使用して、登録したい放送局を選択します。

3 登録したいプリセットボタンをタッチし続ける。

選局した放送局の周波数がタッチしたプリセットに登録されます。

TIPS

・手動登録（手動プリセット）では、FM1、FM2、FM3、AM1 の 4 つのラジオバンドに放送局を登録することができます。

・各バンドに登録できる放送局は各 12 局です。合計 48 局登録することができます。

iPod

iPod/iPhone について

本機でiPod/iPhoneの音楽を再生することができます。再生するには、市販のデータ通信ケーブルが必要です。

TIPS

- iPod/iPhone のバージョンによっては、再生できない場合があります。
- iPod/iPhone の機種によって再生対象のファイルが多い場合、タイトル表示やリスト表示ができない場合があります。
- iPod/iPhone のリピート、シャッフル機能を設定している場合は、正しく動作しない場合があります。
- iPod/iPhone のステータスによっては、画像ファイルが再生できない場合があります。
- iPod 画面でファイルが含まれていないカテゴリーを選択しないでください。iPod/iPhone がフリーズする場合があります。iPod/iPhone がフリーズした場合は、iPod/iPhone の取扱説明書に記載された手順で iPod/iPhone をリセットしてください。

iPod/iPhone 使用上の注意事項

- iPod/iPhone のご使用に際しては、以下をご覧になり正しくお使いください。
  →「安全上のご注意」P.7
  →「使用上のご注意」P.12
- iPod/iPhone のリモコンやヘッドホンなどのアクセサリーを接続しないでください。
- 接続は、本機の取付説明書の「配線のしかた」をご覧になり接続してください。
- iPod/iPhone およびケーブルは、運転や乗り降りの妨げにならないように固定してください。
- 車のエンジンを切ったあと、必ずiPod/iPhone を取り外してください。接続したままでは、iPod/iPhone の電源が切れない場合があり、iPod/iPhone の電源を消耗する恐れがあります。
- iPod/iPhone が正しく動作しないときは、本機から iPod/iPhone を取り外してリセットし、再度接続してください。
- iPod/iPhone の取扱説明書もよくお読みください。

iPod/iPhone を接続する

iPod/iPhone を接続する

1 iPod/iPhone を市販のデータ通信ケーブルを経由して USB ケーブルに接続する。

iPod/iPhone を接続すると、本機に iPod/iPhone が認識されます。

iPod/iPhone を取り外す

1 メインメニュー画面で [iPod] 以外を選択または電源を切る。

iPod/iPhone を取り外します。

⚠注意

iPod 画面表示時に、iPod/iPhone を取り外すとファイルが破損する場合があります。

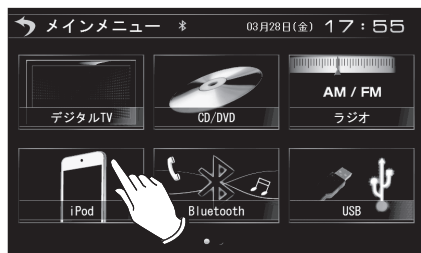
TIPS

・iPod/iPhone の接続を行う前に、iPod/iPhone の言語設定を「日本語」にしてください。ほかの言語が設定されている場合、本機で正しく表示されない場合があります。
・iPod/iPhone を接続している場合には、USB は使用できません。

iPod 音楽再生について

1 iPod/iPhone を市販のデータ通信ケーブルを経由して USB ケーブルに接続する。

2 メインメニュー画面の [iPod] をタッチする。

→「メインメニュー画面」P.19

iPod 画面が表示されます。

iPod 画面に切り替わると、前回の再生位置から再生が始まります。

▼

iPod 画面

① **戻るボタン**
タッチするごとに上階層のフォルダへ移動します。

② **トップボタン**
iPod 画面を表示します。

③ **リピートボタン**
フォルダーリピート / 全リピート / 1 曲リピートの順に切り替えます。

④ **Prev ボタン**
前のトラックを再生します。
長押しすると早戻しします。

⑤ **Play/Pause ボタン**

⑥ **Next ボタン**
次のトラックを再生します。
長押しすると早送りします。

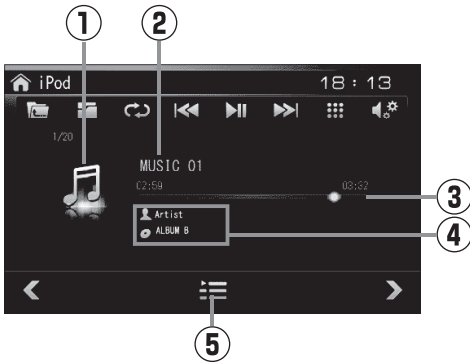
⑦ **サーチボタン**
数字入力画面が表示されます。

⑧ **EQ 設定ボタン**
EQ 設定画面を表示します。
→「EQ 設定画面」P.96

⑨ **前スクロールボタン**
前のページへスクロールします。

⑩ **トラック情報ボタン**
iPod トラック情報画面を表示します。
→「iPod トラック情報画面」P.60

⑪ **次スクロールボタン**
次のページへスクロールします。

iPod トラック情報画面

① **アルバムアートワーク表示**
再生中のオーディオファイルで、アルバムアートイメージが保存されている場合、画像が表示されます。

② **タイトル表示**
再生中のオーディオファイルでタイトル情報が保存されている場合に表示されます。

③ **再生経過時間 / シークバー / 再生所要時間表示**
再生中のオーディオファイルの再生経過時間・再生所要時間が表示されますまた現在の再生位置をシークバーで表示します。

④ **アーティスト、アルバム表示**
再生中のオーディオファイルで、アーティスト情報・アルバム情報が保存されている場合に表示されます。

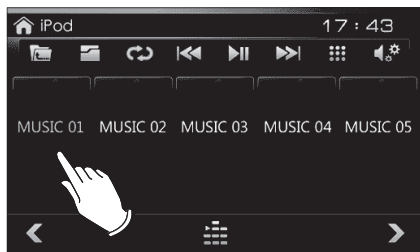
⑤ **閉じるボタン**
iPod トラック情報画面を閉じます。

iPod 音楽画面の操作

リストから再生する

1 カテゴリー再生したい項目をタッチする。

選択した項目の曲が表示されます。

2 再生したい曲をタッチする。

曲を選択すると再生が始まります。

TIPS

- 再生したい曲が表示されていないときは、リストを左右にドラッグ（タッチしたままスライド）しリストを切り替えます。またはスクロールボタンをタッチします。
- 戻るボタンをタッチすると上階層のフォルダへ移動します。

再生・一時停止する

1 Play/Pause ボタンをタッチする。

再生を一時停止するには、Pause ボタンをタッチします。

一時停止中に Play ボタンをタッチすると、一時停止したところから再生が始まります。

トラックを送る・戻す

1 Prev ボタンまたは Next ボタンをタッチする。

次のトラックを再生するには、Next ボタンをタッチします。

前のトラックを再生するには、Prev ボタンをタッチします。

リピート再生する

1 リピートボタンをタッチする。

タッチするごとにフォルダーリピート
リピートオフ、1 曲リピートの順に切
り替わります。

TIPS

フォルダリピートの対象は、再生時に選択したアルバム、プレイリスト、アーティストなどの項目内です。

トラック情報を表示する

1 トラック情報ボタンをタッチする。

iPod トラック情報画面を表示します。

▼

Bluetooth

Bluetooth について

Blurtooth とは、産業団体 Bluetooth SIG により提唱されている携帯情報機器向けの短距離無線通信技術です。2.4GHz 帯の電波を利用して Bluetooth 対応機器同士で通信を行います。
本機では、Bluetooth に対応した携帯電話およびオーディオ機器を接続して利用できます。
Bluetooth 対応機器を利用するには、本機に登録（ペアリング）する必要があります。

Bluetooth 使用上の注意事項

Bluetooth のご使用に際しては以下に記載の注意事項をご覧になり、正しくお使いください。

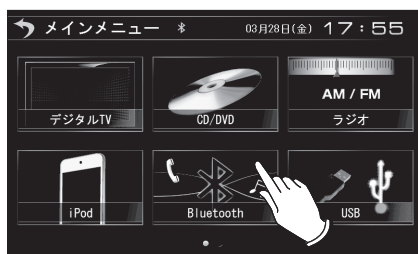
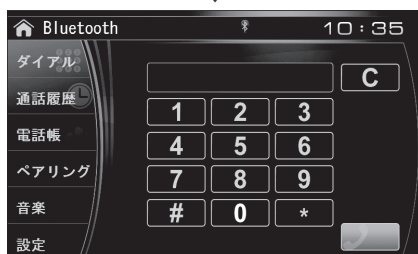
→「安全上のご注意」P.7
→「使用上のご注意」P.12

TIPS

- 本機は、一部の Bluetooth オーディオプレーヤーでは正しく操作できない場合があります。
- 当社では、本機と携帯電話との互換性については保証いたしかねます。

Bluetooth を使う

1 メインメニュー画面で [Bluetooth] をタッチする。

→「メインメニュー画面」P.19

Bluetooth 画面が表示されます。

Bluetooth 画面

① ダイアル
電話画面を表示します。

② 通話履歴
通話履歴画面を表示します。

③ 電話帳
電話帳画面を表示します。

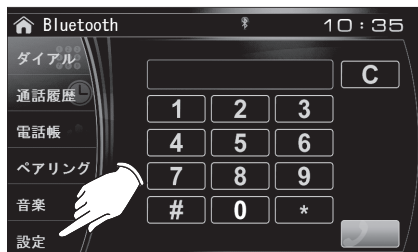
④ ペアリング
ペアリング画面を表示します。

⑤ 音楽
Bluetooth 音楽画面を表示します。

⑥ 設定
Bluetooth 設定画面を表示します。

ペアリングする

はじめて Bluetooth 対応携帯電話およびオーディオ機器を利用するときは、本機に登録（ペアリング）する必要があります。以下の手順でペアリングしてから操作してください。

1 [設定] をタッチする。

Bluetooth 設定画面が表示されます。

2 自動接続を [ON] にする。

Bluetooth 接続が ON になります。

3 登録する機器の電源を入れ、Bluetooth 機能を ON にする。

登録する Bluetooth 対応携帯電話およびオーディオ機器（以下対応デバイス）の電源を入れ、Bluetooth 機能を ON にします。

4 [ペアリング] をタッチする。

ペアリング画面が表示されます。

5 ＋マークをタッチする。

Bluetooth が ON の対応デバイスを検索し、見つかるとペアリングリストに表示されます。

6 登録する対応デバイスをタッチし、[ペアリング] をタッチする。

ペアリングリストから選択して、タッチすると対応デバイスに、パスキー入力画面が表示されます。

7 ４桁のパスキーを入力する。

対応デバイスに４桁のパスキーを入力します。

ペアリングが成功すると、画面上のインジケーターが青色に変わります。

TIPS

- 携帯電話の機種によっては、パスキーの入力が必要になります。その場合はパスキーを入力します。
- また機種によっては、本機に入力したパスキーと携帯電話側のパスキーとが同一かを確認する画面が表示されます。その場合は、画面にしたがって操作してください。
- パスキーの初期設定は「1234」です。
- 本機では、最大５台まで登録することができます。

Bluetooth デバイスを接続する

ペアリング同様に手順 4 まで進めます。
→「ペアリングする」P.66

1 **使用するデバイスをタッチし、[接続] をタッチする。**

Bluetooth デバイスが接続されます。

TIPS

[削除] をタッチすると、ペアリングされたデバイスをペアリングリストから削除することができます。

Bluetooth デバイスを切り替える

ペアリング同様に手順 4 まで進めます。
→「ペアリングする」P.66

1 **接続中のデバイスの [切断] をタッチする。**

接続が解除され、デバイスが切断されます。

2 **切り替えたいデバイスをタッチして、[接続] をタッチする。**

Bluetooth デバイスが切り替わります。

電話について

携帯電話を接続して、電話機をハンズフリー操作することができます。

1 Bluetooth 画面で［ダイアル］をタッチする。

→「Bluetooth を使う」P.65

電話モードになり、Bluetooth 接続した電話機のハンズフリー画面（電話画面）を表示します。

・安全のため、自動車運転中の電話のご使用はおやめください。
・運転中は電話をかけないでください。また運転中にかかってきたときには、あわてずに安全な場所に停車してから受けてください。
・電話を使用するために、禁止された場所や周りに迷惑のかかる場所で駐・停車などをしないでください。

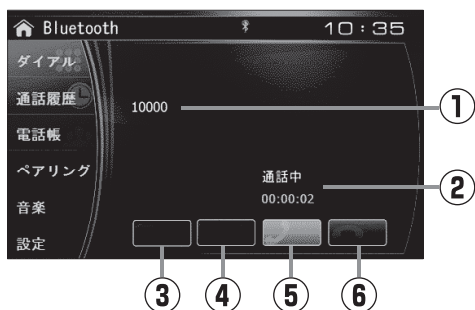
ダイアル画面

① **電話番号入力欄**
入力した電話番号が表示されます。

② **クリアボタン**
入力した番号が削除されます。

③ **10 キーパッド**

④ **発信ボタン**
入力した電話番号にダイアルされます。

電話通話画面

① 着信 / 発信電話番号
着信 / 発信番号が表示されます。アドレス帳に登録すると、登録名が表示されます。

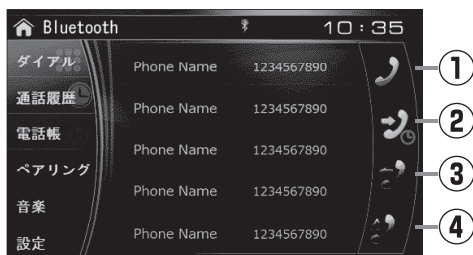
② 通話状態、通話時間

③ 戻るボタン

④ ハンズフリー切替ボタン
通話を携帯電話に切り替えます。

⑤ 受話ボタン

⑥ 終話ボタン

通話履歴画面

① 発信ボタン

② 着信履歴
着信履歴を表示します。

③ 発信履歴
発信履歴を表示します。

④ 不在着信履歴
不在着信履歴を表示します。

電話帳画面

① 電話帳リスト

② 発信ボタン

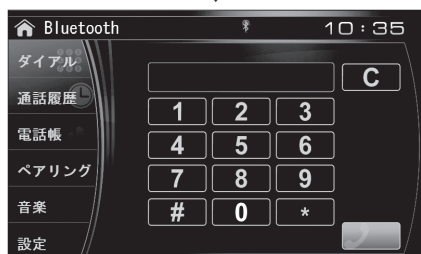
電話画面の操作

番号をダイアルして発信する

1 Bluetooth 画面で [ダイアル] をタッチする。

→「Bluetooth を使う」P.65

ダイアル画面が表示されます。

▼

2 画面の 10 キーを使って、番号を入力する。

3 発信ボタンをタッチする。

電話通話画面が表示され、ダイアルされます。

通話を終了するときは、終話をタッチします。

TIPS

・入力を間違えた場合は、クリアボタンをタッチすると、文字が削除されます。

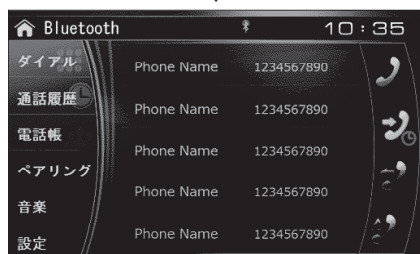
・一部の携帯電話では、プライベートモードに移行するときに、電話割り込み画面が閉じられ、本機との接続が切断される場合があります。

通話履歴から発信する

1 Bluetooth 画面で [通話履歴] をタッチする。

→「Bluetooth を使う」P.65

通話履歴画面が表示されます。

▼

2 着信履歴、発信履歴、不在着信履歴から選択して、タッチする。

選択した内容の履歴リストが表示されます。

3 ダイアルしたい相手先をタッチする。

4 番号を確認して発信ボタンをタッチする。

ダイアルされます。

TIPS

・履歴がない場合は、リストに何も表示されません。

・履歴が隠れている場合は、リストを上下にドラッグ（タッチしたままスライド）し、表示します。

電話帳データを取得する

携帯電話の電話帳データを取得して、本機の電話帳機能を使用して発信することができます。

1 **携帯電話を接続する。**

→「ペアリングする」P.66

接続した携帯電話の電話帳が携帯電話の PBAP 機能により本機側に自動的に読み込まれます。

詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

TIPS

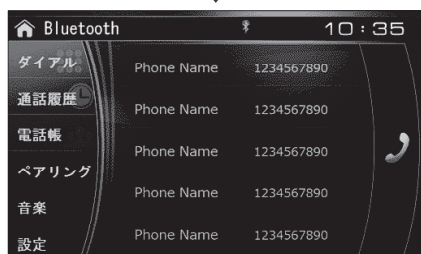
・携帯電話によっては、電話帳転送ができません。
・一部の携帯電話では、携帯電話側で電話帳転送を許可する必要があります。電話機接続の際、携帯電話の取扱説明書をご覧になり設定を行ってください。

電話帳から発信する

1 **Bluetooth 画面で [電話帳] をタッチする。**

→「Bluetooth を使う」P.65

電話帳画面が表示されます。

▼

2 **ダイアルしたい相手先をタッチする。**

3 **番号を確認して、発信ボタンをタッチする。**

ダイアルされます。

電話を受ける

1 **受話ボタンをタッチする。**

着信に応答します。

着信を拒否するときは、[終話] をタッチします。

TIPS

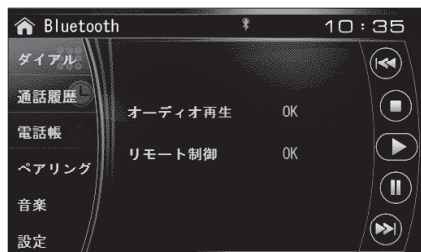
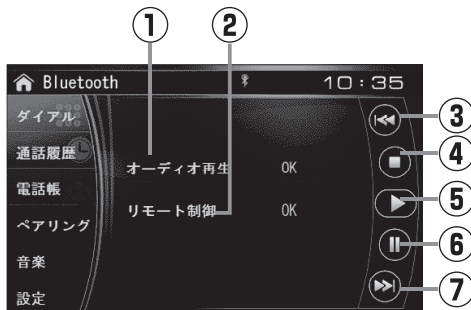
・通話音の音量調整は通話中に VOL. ノブを回します。通話音量が調整されます。
・調整した通話音量は次回以降も保持されます。

Bluetooth 音楽再生について

1 Bluetooth 画面で [音楽] をタッチする。

→「Bluetooth を使う」P.65

Bluetooth 音楽画面が表示されます。

▼

Bluetooth 音楽画面

① **オーディオ再生**

② **リモート制御**

③ **前へボタン**
前のトラックを再生します。

④ **停止ボタン**
音楽再生を停止します。

⑤ **再生ボタン**
音楽を再生します。

⑥ **一時停止ボタン**
音楽再生を一時停止します。

⑦ **次へボタン**
次のトラックを再生します。

Bluetooth 音楽画面の操作

再生・一時停止する

1 再生ボタンまたは一時停止ボタンをタッチする。

再生を一時停止するには、一時停止ボタンをタッチします。

一時停止中に再生ボタンをタッチすると、一時停止したところから、再生が始まります。

トラックを送る・戻す

1 前へボタンまたは次へボタンをタッチする。

次のトラックを再生するには、次ボタンをタッチします。

前のトラックを再生するには、前ボタンをタッチします。

再生を停止する

1 停止ボタンをタッチする。

再生が停止します。

TIPS

- 再生の順番は、Bluetooth オーディオプレーヤーによって異なります。次へボタンをタッチすると、再生された時間によっては、一部の A2DP デバイスでは現在のトラックをもう一度再生しなおします。
- 一部の Bluetooth オーディオプレーヤーでは、本機と再生 / 停止を同期できないことがあります。デバイスとメインユニットが Bluetooth オーディオモードで同じ再生 / 停止ステータスであることを確認してください。

Bluetooth 設定

1 Bluetooth 画面で [設定] をタッチする。

→「Bluetooth を使う」P.65

Bluetooth 設定画面が表示されます。

Bluetooth 設定画面

① **接続中の対応デバイス名**

② **デバイス名**

[変更] をタッチすると、デバイス編集画面が表示されます。
編集する場合は、変更したいデバイス名を入力後、[はい] をタッチします。

③ **パスキー**

[変更] をタッチすると、パスキー編集画面が表示されます。
編集する場合は、変更したいパスキーを入力後、[はい] をタッチします。
初期設定は「1234」です。

④ **自動接続**

ON/OFF を切り替えます。接続が切断されたり、システムが再起動した場合、本機は自動的に電話への再接続を実行します。
初期設定は [OFF] です。

⑤ **自動応答**

ON/OFF を切り替えます。着信の５秒後に自動応答を行うことができます。
初期設定は [OFF] です。

USB

USB メモリついて

USB メモリを接続する

1 USB ケーブルに USB メモリを接続する。

USB メモリを接続すると、本機にファイルが自動的に読み込まれます。

2 メインメニュー画面の [USB] をタッチする。

USB 画面が表示されます。

前回の再生位置から再生が始まります。

TIPS

・USB メモリの接続は、本機の取付説明書の「配線のしかた」をご覧になり接続してください。

・USB メモリを接続している場合には、iPod/iPhone を接続することができません。

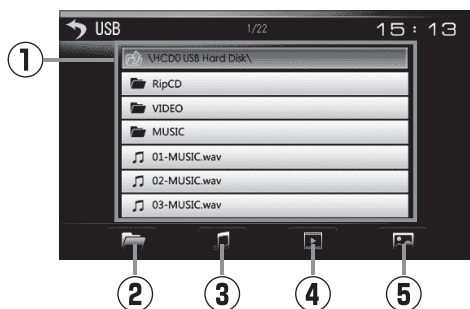
・接続済みの USB メモリにアクセスするには、メインメニュー画面の [USB] をタッチすると、前回の再生位置から再生が始まります。

⚠警告

・本機は一部の USB メモリでは正しく操作できないことがあります。

・DRM で保護されたファイルは再生できません。

・サポートされているファイルがない場合は、ファイルリストに何も表示されません。

USB 画面

① ファイルリスト

② フォルダモード
フォルダ内のすべてのファイルを表示します。

③ 音楽モードボタン
フォルダ内の音楽ファイルを表示します。

④ 動画モードボタン
フォルダ内の動画ファイルを表示します。

⑤ 画像モードボタン
フォルダ内の画像ファイルを表示します。

USB メモリを取り外す

1 メインメニュー画面で [USB] 以外を選択または電源を切る。

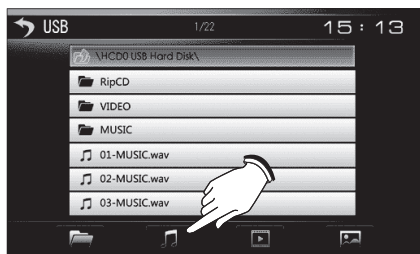
USB メモリを取り外します。

⚠注意

USB 音楽 / 動画画面表示時に、USB メモリを取り外すとファイルが損傷する場合があります。

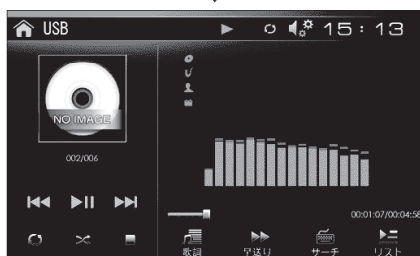
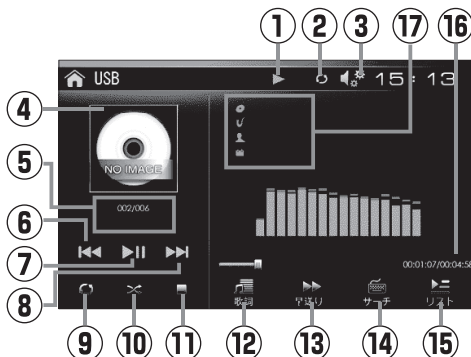
USB 音楽画面の操作

本機は、USB メモリに保存された音楽ファイルを再生することができます。

1 音楽モードボタンをタッチする。

フォルダ内の音楽ファイルが表示されます。

2 リスト上ファイルタイトルにタッチする。

USB 音楽画面が表示され、タッチしたファイルの再生が開始されます。

▼

USB 音楽画面

① 再生ステータス

② リピート・ランダムステータス

③ EQ 設定ボタン
EQ 設定画面を表示します。
→「EQ 設定画面」P.96

④ アルバムアートワーク表示
現在のオーディオファイルで、アルバムアートイメージが保存されている場合、画像が表示されます。

⑤ トラック番号・再生中の曲のタイトル表示

⑥ 前へボタン
前のトラックを再生します。

⑦ 再生 / 一時停止ボタン

⑧ 次へボタン
次のトラックを再生します。

⑨ リピートボタン
全リピート / リピートオフ / 1 トラックリピートの順に切り替えます。

⑩ ランダムボタン
ランダム再生に切り替えます。

⑪ 停止ボタン
音楽再生を停止します。

⑫ 歌詞 / 曲情報ボタン
歌詞と曲情報を切り替えます。

⑬ [早送り]
タッチするごとに、再生速度が２倍、４倍になります。

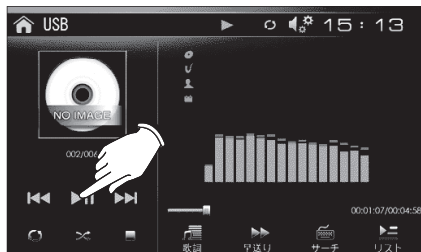
⑭ [サーチ]
数字入力画面が表示されます。

⑮ [リスト]
トラックリストが表示されます。

⑯ 再生経過時間 / シークバー / 再生所要時間表示

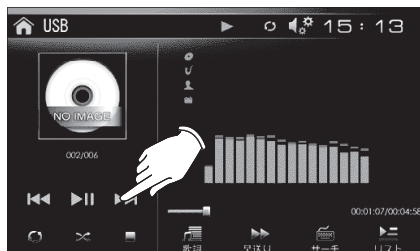
⑰ 再生中の曲のタイトル、アーティスト、アルバム、発売年表示

再生・一時停止する

1 再生 / 一時停止ボタンをタッチする。

再生を一時停止するには、一時停止ボタンをタッチします。

一時停止中に再生ボタンをタッチすると、一時停止したところから、再生が始まります。

トラックを送る・戻す

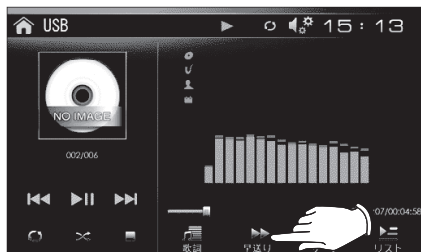
1 前へボタンまたは次へボタンをタッチする。

次のトラックを再生するには、次ボタンをタッチします。

前のトラックを再生するには、前ボタンをタッチします。

早送り・早戻しする

1 シークバー上の四角を再生を開始したい位置までドラッグする。

倍速再生する

1 ［早送り］をタッチする。

タッチするごとに、再生速度が２倍、４倍、通常に切り替わります。

リピート再生する

1 リピートボタンをタッチする。

タッチするごとに、全リピート、１トラクッリピートの順で変更されます。

再生ステータスの右にリピートステータスが表示されます。

ランダム再生する

1 ランダムボタンをタッチする。

トラックのランダム再生が開始されます。

ランダム再生を終了するには、リピートボタンを設定します。

歌詞を表示する

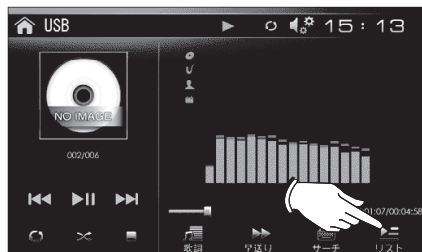
音楽に歌詞情報がある場合、歌詞を表示することができます。

歌詞表示は、同期テキスト（lrc 形式ファイル）に対応しています。

同期テキスト（lrc 形式ファイル）の詳細

・拡張子：lrc
・ファイル名：音楽ファイルと同じファイル名
・格納場所：音楽ファイルと同じ場所
・文字コード：UTF-8

リストから再生する

1 [リスト] をタッチする。

トラックリストが表示されます。

2 リスト上のファイルタイトルにタッチする。

タッチしたトラックの再生が開始されます。

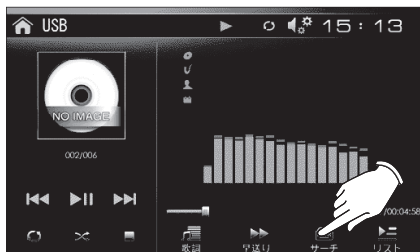
TIPS

・リスト上のフォルダをタッチすると、タッチしたフォルダ内のファイルリストが表示されます。

・再生したいファイルが表示されていないときは、リストを上下にドラッグ（タッチしたままスライド）してリストを切り替えます。

・ファイルリストの一番上のリストをタッチすると上の階層のフォルダへ移動します。

ファイル番号で再生する

1 [サーチ] をタッチする。

数字入力画面が表示されます。

2 トラック番号を入力して、[OK] をタッチする。

入力したファイル番号のファイルが再生されます。

TIPS

入力したファイル番号がない場合、またはファイル番号による再生ができない場合、画面の表示は変更されません。

USB 動画画面の操作

本機は、USB メモリに保存された動画ファイルを再生することができます。

1 動画モードボタンをタッチする。

フォルダ内の動画ファイルが表示されます。

2 リスト上のファイルタイトルにタッチする。

USB 動画画面が表示され、タッチしたファイルの再生が開始されます。

▼

USB 動画画面

① **再生ステータス**

② **EQ 設定ボタン**
EQ 設定画面を表示します。
→「EQ 設定画面」P.96

③ **再生経過時間 / シークバー / 再生所要時間**

④ **前へボタン**
前のチャプターを再生します。

⑤ **再生 / 一時停止ボタン**

⑥ **次へボタン**
次のチャプターを再生します。

⑦ **停止ボタン**
動画再生を停止します。

⑧ **倍速再生ボタン**
タッチするごとに、再生速度が２倍、４倍になります。

⑨ **字幕ボタン**

⑩ **サーチボタン**
数字入力画面を表示します。

⑪ **[リスト]**
動画ファイルリストが表示されます。

再生 / 一時停止する

1 **再生 / 一時停止ボタンをタッチする。**

再生を一時停止するには、一時停止ボタンをタッチします。

一時停止中に再生ボタンをタッチすると、一時停止したところから、再生が始まります。

ファイルを送る・戻す

1 **再生中に前へボタンまたは次へボタンをタッチする。**

次のファイルを再生するには、次ボタンをタッチします。

前のファイルを再生するには、前ボタンをタッチします。

早送り・早戻しする

1 **シークバー上の四角を再生を開始したい位置までドラッグする。**

シークバー上の四角を動かした位置から再生が開始されます。

倍速再生する

1 **倍速再生ボタンをタッチする。**

タッチするごとに、再生速度が２倍、４倍、通常に切り替わります。

リストから再生する

1 [リスト] をタッチする。

トラックリストが表示されます。

2 リスト上のファイルタイトルにタッチする。

タッチしたファイルの再生が開始されます。

TIPS

・リスト上のフォルダをタッチすると、タッチしたフォルダ内のファイルリストが表示されます。
・再生したいファイルが表示されていないときは、リストを上下にドラッグ（タッチしたままスライド）してリストを切り替えます。
・ファイルリストの一番上のリストをタッチすると上の階層のフォルダへ移動します。

ファイル番号で再生する

1 サーチボタンをタッチする。

数字入力画面が表示されます。

2 ファイル番号を入力して、[OK] をタッチする。

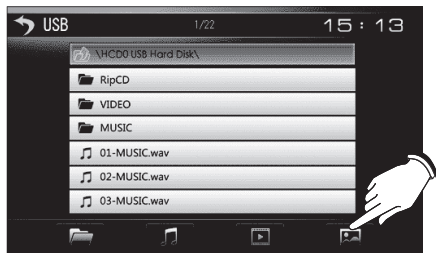
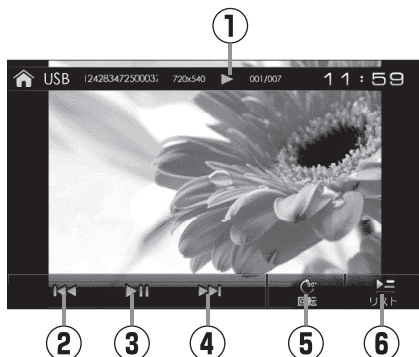
入力したトラック番号のファイルが再生されます。

TIPS

入力したファイル番号がない場合、またはファイル番号による再生ができない場合、画面の表示は変更されません。

USB 画像画面の操作

本機は、USB メモリに保存された画像ファイルを再生することができます。

1 画像モードボタンをタッチする。

フォルダ内の画像ファイルが表示されます。

2 リスト上のファイルタイトルにタッチする。

USB 画像画面が表示され、タッチしたファイルの再生が開始されます。

▼

USB 画像画面

① 再生ステータス

② 前へボタン
前の画像を再生します。

③ 再生 / 一時停止ボタン

④ 次へボタン
次の画像を再生します。

⑤ [回転]
画像を時計回りに回転させます。

⑥ [リスト]
画像リストが表示されます。

再生 / 一時停止する

1 **再生 / 一時停止ボタンをタッチする。**

再生を一時停止するには、一時停止ボタンをタッチします。

一時停止中に再生ボタンをタッチすると、一時停止したところから、再生が始まります。

ファイルを送る・戻す

1 **再生中に前へボタンまたは次へボタンをタッチする。**

次のファイルを再生するには、次ボタンをタッチします。

前のファイルを再生するには、前ボタンをタッチします。

リストから再生する

1 **[リスト] をタッチする。**

画像リストが表示されます。

2 **リスト上のファイルタイトルにタッチする。**

タッチしたファイルの再生が開始されます。

TIPS

再生したいファイルが表示されていないときは、リストを上下にドラッグ（タッチしたままスライド）してリストを切り替えます。

画像を回転させる

1 [回転] をタッチする。

画像が時計回りに 90 度回転します。

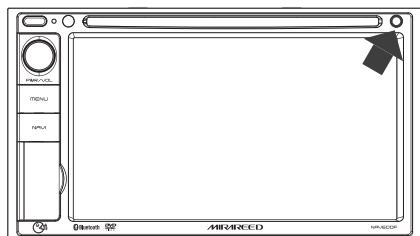
▼

AUX1/AUX2

AUX1/AUX2

オーディオ、ゲーム、ビデオカメラ、iPod/iPhoneなどの外部機器を、本機のAUX1入力端子（本機前面）または、AUX2入力端子（本機背面）に接続し、外部機器を使用することができます。

AUX1入力端子の接続

1 エンジンを切って、AUX INに付属のケーブルを接続する。

2 付属のケーブルに、外部機器を接続する。

TIPS

AUX1入力端子に接続する機器の電源を、車両（バッテリー）から供給すると、ノイズが出る場合があります。

AUX2入力端子の接続

AUX2入力端子への接続は、本機取付説明書の「配線のしかた」をご覧になり、正しく接続してください。

AUXに接続した外部機器を使う

1 メインメニュー画面で[AUX1]または[AUX2]タッチする。

→「メインメニュー画面」P.19

AUX IN/AV INモードに切り替わり、外部機器の映像と音声が出ます。

メインメニュー画面に戻るには、MENUボタンを押します。

TIPS

AUX1またはAUX2入力端子に接続された外部機器を本機から操作することはできません。

カメラ

カメラを使う

別売の後方確認用のバックカメラを接続すると、車の後方をモニターで見られます。後方確認用のバックカメラは、ご購入店でご相談のうえ、お買い求めください。

⚠警告

モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対しないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。

⚠注意

・バックカメラの映像は、障害物などの確認のための補助手段としてご使用ください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。

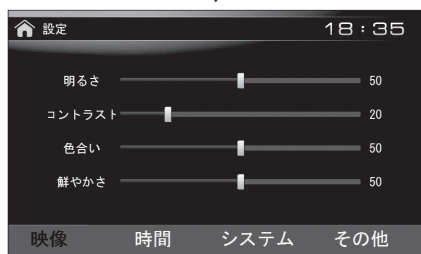
・画質の調整などをするときは、必ず安全なところに停車してから操作を行ってください。

設定

設定画面について

1 メインメニュー画面で［設定］をタッチする。

→「メインメニュー画面」P.19

設定メニュー画面が表示されます。

設定画面

① **映像**
映像設定画面が表示されます。

② **時間**
時間設定画面が表示されます。

③ **システム**
システム設定画面が表示されます。

④ **その他**
その他設定画面が表示されます。

各種設定

映像設定

映像設定では、明るさ、コントラスト、色合い、鮮やかさを設定します。

① **明るさ**
明るさを [0] ～ [100] の間で設定します。
初期設定は [50] です。

② **コントラスト**
コントラストを [0] ～ [100] の間で設定します。
初期設定は [20] です。

③ **色合い**
色合いを [0] ～ [100] の間で設定します。
初期設定は [50] です。

④ **鮮やかさ**
鮮やかさを [0] ～ [100] の間で設定します。
初期設定は [50] です。

時間設定

時刻や、時間表示を設定します。

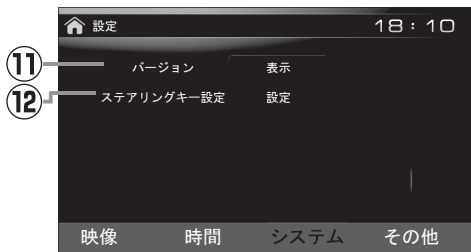
① **24 時間表示**
時間表示モードで [12H]/[24H] を選択します。
[12H] を選択すると、時刻表が 12 時間で表示されます。
[24H] を選択すると、時刻表が 24 時間で表示されます。

② **自動更新**
自動更新で [ON]/[OFF] を選択します。
[ON] を選択すると自動で時刻が更新されます。
[OFF] を選択すると、時刻設定画面が表示されます。

▼

③ **日時**
[▲][▼] をタッチして、年、月、日、時、分を設定します。

システム設定

各システムを設定します。

① **ナビパス**
設定を変更しないでください。ナビシステムのエラーの原因となります。

② **言語設定**
表示言語を [日本語]/[English] から設定します。

③ **ラジオ地域設定**
ラジオ地域を [日本]/[中国]/[アメリカ]/[ラテン]/[ヨーロッパ]/[OIRT] から設定します。

④ **イルミ設定**
イルミ設定を [常時]/[イルミ連動] から設定します。

⑤ **イルミ信号種別**
ライトチェックを [電力]/[パルス] から設定します。

⑥ **操作音**
操作音を [ON]/[OFF] から設定します。

⑦ **バックカメラ連動**
バックカメラ連動を [ON]/[OFF] から設定します。

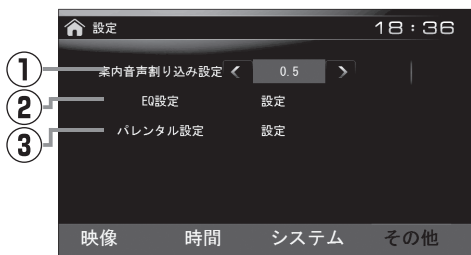
⑧ **パーキング連動**
パーキング連動を [ON]/[OFF] から設定します。

⑨ **タッチパネル調整**
[開始] をタッチすると、タッチパネル調整画面が表示されます。出荷状態で、タッチパネルの座標位置は正しく調整されていますの通常は調整不要です、座標位置が正しくない場合のみ再調整します。

⑩ **工場初期化**
[初期化] をタッチすると、工場初期化設定が表示されます。[OK] をタッチすると、工場出荷時の設定に戻ります。

⑪ **バージョン**
[表示] をタッチすると、バージョン情報が表示されます。

⑫ **ステアリングキー設定**
[設定] をタッチすると、ステアリングキー設定が表示されます。
車両により設定方法が異なりますので、詳しくは販売店にてご確認ください。

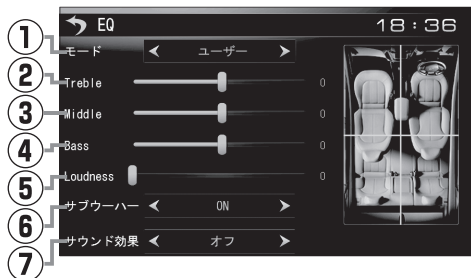
その他設定

① **案内音声割り込み設定**
ナビゲーションの案内音声の割り込み優先度を [0.0] ～ [1.0] の間で設定します。
ナビゲーションの案内音声を最優先にする場合は、[0.0] に設定します。
ナビゲーションの案内音声の割り込み優先機能を OFF にする場合は、[1.0] に設定します。
初期設定は [0.5] です。

② **EQ 設定**
[設定] をタッチすると、EQ 設定画面を表示します。

③ **パレンタル設定**
DVD のパレンタルコントロールを設定します。[設定] をタッチすると、パスワード入力画面を表示します。パスワードの初期設定は [123456] です。

TIPS

視聴制限が設定されたディスクを再生するときにパスワードの入力画面が表示されることがあります。この場合、正しいパスワードを入力しないと再生が開始されません。

EQ 設定画面

① **モード**
6 つの設定（[ロック]/[ポップ]/[リビング]/[ダンス]/[クラシック]/[ソフト]）とお好みで調整した設定（[ユーザー]）からイコライザーを選ぶことができます。

② **Treble**
高音域の音質を調整します。
[-14] ～ [14] の間で設定します。

③ **Middle**
中音域の音質を調整します。
[-14] ～ [14] の間で設定します。

④ **Bass**
低音域の音質を調整します。
[-14] ～ [14] の間で設定します。

⑤ **Loudness**
ラウドネスの補正量を調整します。
[0] ～ [20] の間で設定します。

⑥ **サブウーハー**
重低音（サブウーハー）の出力の [ON]/[OFF] を設定します。

⑦ **サウンド効果**
音質の臨場感を設定します。
[オフ]/[リビング]/[ホール]/[コンサート]/[エコールーム]/[バスルーム]/[アリーナ] から設定します。

その他

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に、下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止してお買い上げの販売店にご連絡ください。

共通

症　状	原　因	処　置
電源が入らない。 (動作しない。)	各リード線や各コネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているか、もう一度確認してください。
音が出ない。	音量が小さいまたは音量が“0”になっている。	VOL. ノブで調整してください。
本機に登録されていた情報が消失している。	・本機の使用をあやまった。 ・ノイズの影響を受けた。 ・修理を依頼した。 などにより本機に保存した内容が消失する場合があります。	消失したファイルについては補償できません。
画面が暗い。	明るさ調整が不適切。	明るさを調整してください。
	車両のライトが点灯している。	画面の明るさはイルミに連動しています。

テレビ

症　状	原　因	処　置
音声は出るが、映像が出ない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。車を停車させ、パーキングブレーキをかけてください。
「B-CAS カードを確認してください」と表示される。	B-CAS カードが挿入されていない。	B-CAS カードをスロットに正しく「カチッ」と音がするまで奥に差込んでください。 →「mini B-CAS カードをセットする」P.27
テレビが映らない。	テレビアンテナが正しく接続されていない。	テレビアンテナの取付説明書をご覧いただきテレビアンテナを正しく接続してください。
	チャンネル設定が地域に合っていない。	都道府県を越えて地域を移動したときは、チャンネルスキャンを行い、その地域に合ったチャンネルに設定してください。

CD・DVD

症　状	原　因	処　置
ディスクが入らない。	すでにディスクが入っていて、2 枚目を入れようとしている。	入っているディスクを取り出してから、次のディスクを入れてください。
	電源が入っていない。	電源を入れて、ディスクを挿入してください。
	ディスク挿入口に異物が入っている。	異物を取り除いてください。それでもディスクが入らないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
再生を始めない。	ディスクが入っていない、または裏向きにセットされている。	ディスクの印刷面を上にして、正しくセットしてください。
	本機で再生できないディスクを入れている。	本機で再生できるディスクを入れてください。
DVD の再生が始まらない。	DVD が本機のリージョンコードに対応していない。	対応するリージョンコードは「2」です。DVD のリージョンコードを確認してください。
音とびする。 ノイズなどが入る。 音声や映像が乱れる。	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。またキズのあるディスクは使用しないでください。
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまってしまう恐れがあります。ラベルがはがれていないか確認してください。はがれているディスクは挿入しないでください。
ビデオ映像が表示されない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。車を停車させ、パーキングブレーキをかけてください。
	パーキングブレーキ接続ケーブルを接続していない。	パーキングブレーキ接続ケーブルを接続し、パーキングブレーキをかけてください。またパーキングブレーキが“ON”になっているかどうか確認してください。
DVD のタイトルを選んで決定しても、再生が始まらない。	視聴制限の機能が働いて、本機の DVD ビデオの再生を禁止している。	パレンタル設定の視聴制限レベルを確認してください。
ディスクを取り出したときディスクが熱い。	本体を長時間使用していた。 ディスクを長時間再生していた。	長時間使用すると本体内部の温度が上がり、ディスクを取り出すくとディスク自体が熱くなることがあります。 本体のディスク読み取り性能およびディスクへの影響はございませんので、気をつけて取り出してください。

ラジオ

症　状	原　因	処　置
ラジオの自動選局ができない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。
ラジオでノイズが多い。	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、ノイズが少なくなります。
ラジオの入りが悪い。	エアコンやワイパー動作に連動したノイズが発生している。	車両側の電装品が動くとノイズが入る場合があります。電装品の動作を止めると良くなる場合があります。
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご利用ください。

USB・iPod

症　状	原　因	処　置
USB デバイスが挿入できない。	USB デバイスの挿入方向が間違っている。	USB デバイスの向きを変えてもう一度挿入してください。
	USB デバイスのコネクターが破損している。	新しい USB デバイスと交換してください。
USB デバイスを認識していない。	対応しない USB デバイスの可能性があります。	別の USB デバイスで試してください。
	USB 接続ケーブルが正しく接続されていない。	USB 接続ケーブルが正しく USB デバイスに接続されているか確認してください。
再生できない。	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたファイルにしてください。
	対応デバイスにファイルが保存されていない。	対応デバイスにファイルを正しく書き込んでください。

Bluetooth

症　状	原　因	処　置
ペアリングできない。	デバイスが本機に必要なプロファイルをサポートしていない。	他のデバイスを接続してください。
	デバイスの Bluetooth 機能が有効になっていない。	デバイスの取扱説明書に記載された手順で Bluetooth 機能を有効にしてください。
	デバイスの Bluetooth 機能が検出可能状態になっていない。	デバイスの取扱説明書に記載された手順で、検出可能状態にしてください。
Bluetooth 対応デバイス接続後に、音質が悪くなった、ノイズが入る。	電波がビルなどにより乱反射したり電波がさえぎられている。	妨害電波を受けない場所に移動してください。
	鉄道の高架下や高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで、それぞれ出す雑音音波が電波に混入した。	
	電話から電波が混入した。	

保証について

■ 品質保証

弊社では下記の通り、品質保証を行っています。
製品の故障が発生した場合はミラリードサポートセンター（TEL:0570-00-8857）へご連絡ください。

◆ 無償サービス

ご購入後１年以内に故障が発生した場合は、無償サービスを受けられます。
ただし、一般製品を業務用として転用し、ご使用になった場合は、保証期間が半分に短縮されます。

◎ 被害タイプ補償内容
正常使用範囲で発生した性能・機能上の欠陥により、故障が発生した時
（故障による不良に限る）
・保証期間内：交換および無償修理
・保証期間後：有償修理

◆ 有償サービス

1. 故障ではない場合
・故障ではない場合やサービス請求した場合は、料金はお客様の負担となります。必ず最初に取扱説明書をお読みください。

2. お客様の過失による故障の場合
・お客様の取扱い不注意または修理・改造により故障が発生した場合。
・弊社のサービス委託業者および指定協力会社の技術者でない者が修理して故障が発生した場合。
・設置後、落下などによる故障・損傷が発生した場合。
・弊社製でない消耗品やオプション品を使用したことにより故障が発生した場合。

3. その他
・天災（火災、塩害、水害など）やその他事故により故障が発生した場合。

● 保証期間を経過してしまった場合でも、修理によって機能が維持できる場合に限り、お客様のご要望により有料修理が可能な場合がございます。

● 修理金額の見積もり・修理期間などについては、お買い上げの販売店またはサポートセンターへご相談ください。

● 本製品を修理に出された場合、お客様が登録・設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

■保証規約

1. 保証期間
   当社の保証期間は、ご購入日から１年間となります。
   保証期間内であれば、ご購入いただいた商品の修理を無償で行います。
   保証を受ける場合は、購入期日を証明できる書類（レシート・販売店証明書など、いずれも販売店が明記されているものに限ります）と一緒に保証書をご提示ください。
   これらのご提示がない場合は有償修理となりますことをあらかじめご了承ください。

2. 本製品の使用により生じた直接的・間接的な損害につきましては、いかなる場合も当社は一切の責任を負いかねますことをあらかじめご了承ください。

3. 本製品の着脱にともなう工賃等につきましては保証の対象外となります。あらかじめご了承ください。

4. 保証書は日本国内でのみ有効です。

5. 保証の除外事項
   下記のような場合には、保証期間内であっても有償修理となります。

   ・本製品の取扱説明書に記載されている使用方法および取扱方法、注意事項に反する使用によって生じた事故・破損。
   ・ご購入後の輸送事故や落下・振動等、不適切な取扱による事故・故障。
   ・火災・水害等の不測の天変地異、または異常電圧、指定以外の電源使用等の外部要因に起因する事故・故障。
   ・接続先または接続元の機器に起因する事故・故障。
   ・ご購入後のお客様による分解・修理・改造に起因する事故・故障。
   ・消耗品の交換。（付属品は初期不良のみ保証の対象となります）
   ・機械寿命以上に使用された場合。
   ・保証書のご提示がない場合。
   ・保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられたり偽造された場合。
   ・購入期日を証明できる書類（レシート・販売店証明書など、いずれも販売店が明記されているものに限ります）のご提示がない場合。

● 本製品の使用中に故障が発生した場合には、販売店及びサポートセンターへご連絡ください。

● 付属品は消耗品のため、初期不良以外は保証の対象外となります。あらかじめご了承ください。

● 交換、修理（有償・無償）、払い戻し及び保証期間中など、その他保証規定は消費者保護法の保証基準に依拠します。

● 取扱説明書の内容は、機器のソフトウェアバージョンにより異なる場合があります。また、お客様に事前の通知無しに変更されることがあります。

保証書

品　番	NAV600F
保　証　期　間	お買い上げ日から１年間
お買い上げ日	年　月　日
製　品　番　号	S/N
販売店	

見本

商品の不具合 / 修理などに関するお問い合わせ

●ミラリードサポートセンター

受付時間：10：00 ～ 17：00（年中無休）

※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。

オプション品 / その他お問い合わせ

●ミラリードお客様相談センター

06-6455-7637

受付時間：10：00 ～ 12：00，13：00 ～ 17：00（平日のみ）

株式会社 ミラリード

■東京本社　〒106-0046　東京都港区元麻布3-12-2
■商品案内URL　http://www.mirareed.co.jp